

第4部

市民・事業者の活動と市の取組

第4部では、実際に立川市内で環境配慮行動に取り組んでいる市民団体や学校、事業者の皆さんの活動と、それらの活動を広めていくための市の取組について紹介いたします。

ここで紹介する活動や取組は、市内で行われている活動の一部かもしれませんが、ご覧になった皆さんが、自分でもできる「環境にやさしい行動」を見つけて取り組んでいただくきっかけになればと考えています。

なお、ここで紹介している各団体の取組は、市内の全公立小中学校、市との協働等による活動事例のある市民団体、市民活動センターたちかわに登録のある団体、NPOとして認証登録している団体、市内事業所等に依頼した「環境活動関連調査」の調査回答に基づいています。

*市では、行政、自治会、NPO、企業などすべての団体と市民が、多様な協働を展開することで地域のさまざまな課題を解決し、活力あふれるまち立川の実現を目指しています。取組の紹介では、「事業の協働・共催団体等」の欄を設けているものがあります。市ではこの欄により多くの団体が記載されるよう協力・支援していきたいと考えています。

※掲載は順不同

市民・事業者の活動

東京ガス株式会社 東京西支店

事業の名称：地球環境保全への取り組み

事業の開始時期：平成12年

【事業の概要】

東京ガスグループは1885年の創業以来、技術革新や創意工夫を重ね、みなさまの近くで、より豊かな暮らしと環境に優しい社会を志してきました。日本初のLNGの導入や、日本のエネルギー企業として初めてのCO₂ ネット・ゼロへの挑戦宣言を行いました。私たちはこれからも、地域密着のエネルギー提案・まちづくりに積極的に取り組んでいきます。

環境コミュニティ活動としては、環境フェアへの出展、小中学校への出前授業等の他、エネルギーに関する動向などの情報提供を行っています。環境だけではなく防災対策の重要性についても理解を深めていただくため、多くの市民の方が参加される総合防災訓練では防災に役立ち環境にも優しいエネファームの周知を行っています。また、都民の皆さまに防災に関する知識や技術を学んで頂き、都市ガスの高い安全性・防災性を広くお伝えする事を目的として立川防災館に『都市ガスの防災対策紹介コーナー』を開設しました。

【令和4年度の実施概要】

地域イベント活動

- ・環境フェア：「間伐材を使ったコースターづくり」「環境への取り組み紹介」「スタンプラリー」「環境クイズ」を行いました。
- ・エコチャレンジ講座：アースビル立川見学、燃料電池って何だろう？（発電体験）を行い4組9名の親子に参加頂きました。イベント活動での体験を通じて環境への取り組み内容、家庭で出来る省エネ対策、燃料電池についての理解を深めて頂くことができました。

教育支援活動

学校教育支援活動として出前授業を行い、エネルギーによる暮らしの変化や環境・資源問題などをわかりやすくご紹介しています。校長会にて資料を配布して頂いていますが、お申込みはありませんでした。

【親子エコチャレンジ講座】

アースビル立川見学会と燃料電池実験の様子



【環境フェア】

環境クイズと間伐材のコースター作りの様子



【今後の目標等】

エネルギー・環境・防災・まちづくり等の面から地域の課題に寄り添い、地域の皆さまとともに解決策を考える共創活動を通じて地域の発展に貢献して参ります。その取組みとして、市民の皆さまへのエネルギー・環境に関する情報提供をはじめとし、未来を担う子どもたちから大人まで幅広く対象として、環境意識や環境行動の向上を支援させていただくことが重要だと考えています。

連絡先 電話：042-526-6125

ホームページアドレス：<https://www.tokyo-gas.co.jp/>

大和自動車交通立川株式会社

事業の名称：地球温暖化対策・省エネルギー対策・環境保全活動

事業の開始時期：平成 26 年 4 月

事業の協働・共催団体等：グリーン経営認証登録

【事業の概要】

当事業所は平成 26 年 4 月、大和自動車交通株式会社立川営業所から、分社化により**大和自動車交通立川株式会社**として新たにスタートしました。事業の内容としては、一般乗用旅客自動車運送業（タクシー事業）として、お客様を安全・安心かつ快適に目的地までお送りすることです。また、指定訪問介護事業所（介護タクシー事業）としても事業を展開しており、ご利用いただいたお客様にはご好評をいただいています。

使用している営業車は、燃費基準値達成の低公害車がほとんどであり、ハイブリッド車は 54 台稼働しています。日産セレナ e-power やトヨタ JAPAN タクシーという、環境に配慮した新しいシステムのハイブリッド車も導入しており、令和 4 年 12 月より電気自動車（日産リーフ）を導入し、ほぼ全車が環境にやさしい車両で運行しています。

【事業実施の効果・メリット】

環境にやさしい車両を使用することにより、有害物質の排出量が抑えられ、騒音等の公害なども抑えられます。

【今後の目標等】

今後も車両の代替え時には、積極的にハイブリッド車の導入を検討し、お客様にも環境にもやさしい車両を揃え、皆様のお役に立てるよう会社全体で取り組んでいきたいと考えています。



連絡先 所在地：立川市富士見町 1-25-20

ホームページアドレス：<https://www.daiwaj.com/>

立川商工会議所

事業の名称：地球温暖化対策事業
事業の開始時期：平成 21 年 10 月
事業の協働・共催団体等：立川市
<p>【事業の概要】</p> <p>地域総合経済団体である立川商工会議所では、平成 21 年 10 月に地球温暖化対策事業を検討・推進するため、環境 ECO 推進協議会を立ち上げ、立川商工会議所の環境行動計画を策定し、支援策やビジネスチャンスの創出など立川市とも連携を図り、地球温暖化対策の取り組みを実施してまいりました。平成 26 年度に、その計画の見直しを図り、平成 27 年度より新たにネクストステップとして“みんなでつくる生き活きとした立川プロジェクト”を策定し現在活動を行っております。令和元年 11 月には、協議会から環境コミュニティ特別委員会へ変更し、商工会議所の政策としてより具体的な活動を目指しています。</p> <p>“みんなでつくる生き活きとした立川プロジェクト”</p> <p>I. 中長期的活動（5～10 年）</p> <p>①立川モデルの検討 ②“見える化”によるグリーンマイレージ(GM) の検討 ③エコドライブ推進の検討</p> <p>II. 短期的活動(1～2年)</p> <p>①中小企業における省エネ提案 ②省エネ体験プロジェクト ③外部プロジェクトとの連携 ④情報収集・提供 ⑤アンケート調査の実施</p> <p>令和 4 年度では、第 4 回立川プレゼンプロジェクトの実施、立川市施設改修補助金の周知、碧つなぐ環境コミュニティ会議にて表彰式とプレゼン動画を放映しました。</p> <p>また、令和 6 年に環境国際会議の開催を目指し、その前年度にあたる本年度をプレ会議と位置づけ、令和 5 年 2 月 8 日に碧つなぐ環境コミュニティ会議を開催しました。</p> <p>事業 PR 動画 Re-eco eco プロジェクトの軌跡と未来 https://www.youtube.com/watch?v=zujj7EvcgXA</p> <p>【事業実施の効果・メリット】</p> <p>“みんなでつくる生き活きとした立川プロジェクト”に沿った事業を実施し、環境問題に取り組む意識啓発を行いました。また、会員企業への関心度を高める啓蒙活動、今後の支援策などの周知を行いました。</p> <p>【今後の目標等】</p> <p>普及活動を継続展開していき、環境に意識の高いまち立川を目指します。</p>
連絡先 所在地：立川市曙町 2-38-5 立川ビジネスセンタービル 12 階
ホームページアドレス： https://tachikawa.or.jp/iinkai/eco_kyogikai/

立川市立柏小学校

事業の名称：立川市民科「知ろう玉川上水！守ろう玉川上水！」

【事業の概要】

立川市立柏小学校は、玉川上水を学区に抱えています。玉川上水で環境保全活動をしている地域の方を講師に迎え、3年生がホタル幼虫を生育したり、成虫の光る様子を観察したり、さらにホタルの幼虫を玉川上水に放流したりするなど、様々な自然体験を含めた学習活動を行っています。地域・保護者の方々との生き物を通じた交流を行い、自分たちの暮らす地域の自然環境を大切にしていきたい態度を育てています。

【令和4年度実施概要】

- ホタルの生態について地域の方からお話を聞き、一人一人が幼虫をもらい観察をして、幼虫が成虫になるときの飼育環境づくりを行いました。
- 成虫になったホタルを夜の学校で親子観察会を行いました。ホタルが光る様子を観察しました。
- 成虫から生まれた卵を育て、育った幼虫を玉川上水に放流しました。

【事業実施の効果・メリット】

子供たちの関心が高い生き物ホタルを教材として扱うことは、そのホタルが生息できる環境に自然と目を向けることができ、大切に育てたからこそ、ホタルが生きられる環境を自分たちの暮らす地域に残していきたいと考えることができるようになりました。親子で成虫が光るのを観察する機会を作ったことで、親子で地域の自然環境を考える機会も作ることができました。

【今後の目標等】

地域団体と連携し継続した学習活動ができるようにするとともに、カリキュラムの改善を行い、子供たちがより地域の自然環境に関心を向けられるようにしていきたいです。



連絡先 所在地：立川市柏町4-8-4 電話：042-537-1962

立川市立立川第六中学校

事業の名称：桜並木清掃

【事業の概要】

立川市立立川第六中学校は、多摩モノレール【泉体育館駅】の目の前にある中学校です。生徒会本部役員が中心となり、桜並木の清掃を行います。桜並木の清掃とは、生徒からボランティアを募り、桜並木の落ち葉はき・ごみ拾い等を行う活動です。清掃活動を通して奉仕する喜びを味わうとともに、地域への所属感を高める場としています。

【令和4年度の実施概要】

令和4年度は11月22日(火)・25日(金)の2日間で実施し、多くの生徒が清掃活動に一生懸命取り組みました。生徒会本部役員が各部活動やボランティアなどの参加者を募りました。昨年度は、2日間の実施でしたが、多い日には一日100名以上の生徒が参加しました。90Lのゴミ袋を落ち葉やゴミでいっぱいにすることや、通行人の方々からお礼や励ましの言葉をかけてもらったことにより、清掃活動にやりがいを感じているようでした。地域の方とのコミュニケーションも挨拶を通して図ることができました。

※回収落ち葉＝90Lのゴミ袋78袋

【事業実施の効果・メリット】

桜並木の落葉が減り、通行しやすくなるとともに、雨水の排水確保ができることから冠水防止に繋がります。さらに、地域美化・地域安全に貢献することで、桜を愛し、母校への通学路に愛着が湧き、地域愛が深まったように感じました。

【今後の目標等】

生徒同士が学年の壁を超えて交流をしたり、地域との連携を深めることができたため、六中の伝統として、これからもこのような交流や地域連携の機会を増やしていきます。



連絡先 所在地：立川市泉町786-16 電話：042-537-3195

ホームページアドレス：<https://www.tachikawa.ed.jp/jh06/>

NPO 法人 集住グリーンネットワーク

事業の名称：立川市環境フェアへの参加・根川緑道のさくらの保全活動 など

事業の開始時期：平成 16 年 4 月

事業の協働・共催団体等：立川市公園緑地課、環境対策課

【事業の概要・令和 4 年度活動内容】

・根川緑道のさくらの保全活動

さくらの樹勢調査や土壌改良によるさくらの保全活動を実施しました。活動を通じて、身近な自然環境の保全を考えるきっかけとし、緑地の質の向上を図ることを目的としています。

・フィリピンの熱帯林の保全活動

森林と共生可能なコーヒー植栽を通して、熱帯林の保全活動を推進しています。

・ぶどうの植栽を通じた里山保全活動

里山の耕作放棄地でぶどうの育成を通して保全を実施しています。

・環境フェアへの出展

間伐材を活用したカートン缶の普及を通して森林環境教育を実施しています。

・環境講座「炭づくりから里山を考える」

市民に里山の意義と炭の利活用方法を伝えています。

【事業実施の効果・メリット】

・根川緑道のさくらの保全活動

活動を通じて、身近な自然環境の保全を考えるきっかけとなり、緑地の質の向上を図ることにつながります。



ぶどうを通じた里山保全活動



根川緑道さくら保全活動

・フィリピンの熱帯林の保全活動

熱帯林の保全と農村の活性化。

・ぶどうの植栽を通じた里山保全活動

里山の保全の質の向上。

・カートン缶の普及

・炭づくりから里山を考える

森林や里山の意義を市民が認識。



環境フェア カートン缶の普及活動



炭づくりから里山を考える

【今後の目標等】

今後は、講座、イベントでより多くの市民を巻き込んでいきたいと思ひます。

連絡先 所在地：立川市柴崎町 4-11-4 ハイムエトワール 103

ホームページアドレス：<https://www.facebook.com/negawasakura/>

NPO 法人 教育支援協会東京西

事業の名称：ムシムシ探検隊・立川

事業の開始時期：平成 25 年 4 月

事業の協働・共催団体等：たちかわ水辺の楽校、玉川上水の自然保護を考える会
日本蛾類学会、立川市ほか

【事業の概要】昆虫離れと言われる今、農業や工業にとっても昆虫の研究者が大切です。わたしたちは「昆虫好き」を増やすこと、「昆虫を通して、立川市の環境を考える」ことを目的とし、そのきっかけとなる様々な機会を提供しています。

【令和4年度の実施概要】

●環境対策課との協働で作っている市民投稿型の「みんなでつくろう！立川いきものデータベース <https://ikimono-tachi.jp/>」の運営を行いました。立川市に生息する生き物を、市民や来街者がスマートフォンやデジタルカメラなどで撮影した写真を投稿していただいて作っていくホームページサイトです。多数の方々から投稿していただき、立川市内には多くの生き物が生息していることがわかりました。また、レッドデータ（絶滅危惧種）なども見つかっています。

●市内の小学校で環境学習の授業を行いました。「昆虫観察の授業、校庭での昆虫探し」の授業では、子どもたちが見つけた昆虫を担当の先生がタブレットで撮影して、「みんなでつくろう！立川いきものデータベース」に投稿していただきました。

●毎月1回行っていた「立川市内の公園や緑地での観察」は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のためしばらくの間中止といたしました。

【事業実施の効果・今後の目標等】

環境に関心を持つ人を増やすとともに、立川市のデータベースをつくることができます。記録写真をデータベースにしていきます。興味を持つ人を増やすために、楽しいイベントを企画します。

連絡先 所在地：立川市砂川町 8-88-24

電話：042-535-3100 FAX：042-535-3336

ホームページアドレス：<https://musimusi.jp/>

立川崖線の自然を守る会

事業の名称：立川崖線の樹林地帯等の環境保全・維持活動

事業の開始時期：平成 15 年

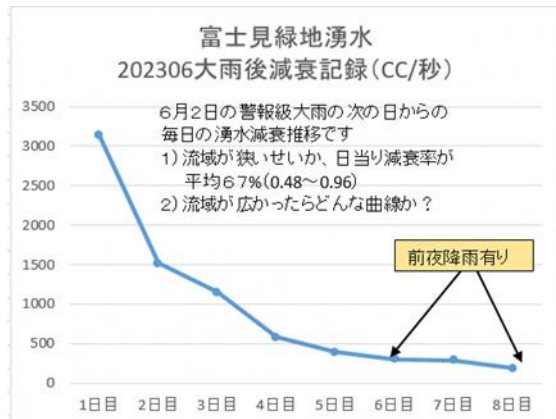
事業の協働・共催団体等：立川市公園緑地課

【事業の概要】

立川崖線の富士見緑地の樹林地帯、湧水池・公園等の自然環境保全、生物多様性保全、清掃活動を行っています。具体的にはごみ清掃、樹木の枝伐採、紫陽花等の剪定、雑草等の草刈り、落葉の清掃・堆肥作成、池の清掃、ヤゴの放流等を行っています。堆肥の育成によりカブトムシの幼虫が育ち、出来た堆肥は近隣園芸サークルに提供しています。活動は毎月第2、第4火曜日午前中、富士見緑地で行っています。

【活動内容】

令和4年度は富士見緑地東西地区の生物多様性保全育成計画を作成し、会員相互の共有を図りました。また貴重な湧水の水量推移実態の計測を始めました。



【事業実施の効果・メリット】

活動により自然環境が保全されていると思います。公園のごみはコロナのせいか、少なくなったような気がします。公園に園児が先生に連れられて大勢、和やかに遊びに来たりします。

【今後の目標】

立川市公園緑地課と連携し自然環境の維持向上を図りたいと思います。また近隣の居住者、子供たちに親しまれる緑地にしたいと思います。

連絡先 住所：立川市富士見町 6-25-103

電話：042-525-7070 (会長：加藤)

ホームページアドレス：himajit.web.fc.com

玉川上水の自然保護を考える会

事業の名称：玉川上水の自然保護とホタルの復活・保護

事業の開始時期：平成元年12月

事業の協働・共催団体等：立川ホタルと鳴く虫の会

【事業の概要】

玉川上水の自然保護を考える会は、玉川上水の上流部分（羽村取水口～小平監視所 12 km）を流れる水道用原水の導水路の良好な管理に協力するとともに、国の史跡であり、都の歴史環境保全地域に指定されている玉川上水とその周辺の自然環境・生態系・景観の保全活動を行っています。そのため、①野草・野鳥・蝶等の保護。②ホタルの復活・保護。③緑道の清掃美化・側面の笹刈り。④小・中学校の環境学習支援。⑤玉川上水流域関係団体との交流・連携。⑥会報「玉川上水」（季刊）発行等を実施しています。

【令和4年度の実施概要】

①玉川上水緑道・他の清掃美化活動（第2日曜 9：00～11：00、第4日曜 13：00～15：00）。②野草の保護活動（貴重な野草に杭を立てる。「こんぴら野草園」の整備）。③玉川上水のホタルの復活・保護活動。④巣箱の点検・設置。⑤夏休み、小・中・高校生ボランティア受け入れ。⑥シルバー大学講座支援。

【事業実施の効果】

① 玉川上水の法面などで咲くキンラン・ギンラン等の貴重な野草が保護されました。②こんぴら橋から清願院橋区間で、自生するようになったホタルが約500頭飛びました。③シジュウカラ等小鳥が巣箱で営巣しました。④夏休み、小中高校生ボランティアが6名（小1名、中2名、高1名、大人2名）参加しました。⑤6小4年、7小3年、上砂川小3年、柏小3年生、新生小5年生に総合的な学習の時間で、ホタルの環境学習支援を行いました。

【今後の目標】玉川上水・周辺地域の自然・環境保護活動を行います。また、玉川上水で、6月はホタルの羽化状況を毎日記録し、ホタルが減少してきたときは、幼虫を放流します。



巣箱の営巣を確認したあと、巣箱をきれいにしたり、破損した巣箱を取りかえたりする



貴重な野草保護のため、「こんぴら野草園」の整備をする

連絡先 住所：立川市砂川町4-39-23 会長：萩本 悦久
電話：042-535-4650

立川ホタルと鳴く虫の会

事業の名称：ホタルの復活と保護、及び鳴く虫など地域自然環境保全

事業の開始時期：平成18年9月

事業の協働・共催団体等：玉川上水の自然保護を考える会

【事業の概要】

立川ホタルと鳴く虫の会は、玉川上水のゲンジボタルの復活と保護、市内小学校でのハイケボタルを教材にした環境学習支援、市内の公園でホタルの幼虫放流、観察会を実施しています。また、「鳴く虫」の生態観察、飼育技術研究、生息環境の保護活動を行い、住み良い地域づくりに寄与することを目的としています。

【令和4年度の実施概要】

① 6月、玉川上水（こんぴら橋～清願院橋区間）のゲンジボタルの羽化数を毎日観察・記録をとりました。②6小4年、7小3年、上砂川小3年、柏小3年、新生小5年生のハイケボタルの環境学習支援を行いました。③9月に会員による「鳴く虫を聞く会」をしました。一般の「鳴く虫を聞く会」はコロナ感染防止のため中止しました。④毎月第2土曜（13:30～15:30）に砂川公園清掃・美化活動を行いました。

【事業実施の効果】

① 玉川上水のホタル羽化数は約500頭でした。②令和3年がにがら田んぼ裏の用水に、ゲンジボタルの幼虫を放流したところ、約20頭が羽化しました。③「鳴く虫を聞く会」は、コロナ感染防止のため一般は中止し、会員は9月10日（土）に実施しました。

【今後の目標】

① 市内小学校の立川市民科で、ホタルを教材にした環境学習支援をしていきたい。②立川公園で、ゲンジボタルの幼虫を放流し、ホタル観賞会を実施したい。③玉川上水のホタルを保全するため、成虫を捕獲して産卵させ、幼虫を放流したい。



上砂川小学校3年生が、池を作り、
ハイケボタルの幼虫を放流



新生小学校5年生が、富士見町団地の昭和用水に、
自分たちで育てたゲンジボタルの幼虫を放流

連絡先 住所：立川市砂川町8-64-5 会長：茂木 久雄
電話：042-535-3940

立川かんきょう市民の会

事業の名称：環境学習支援・環境教育支援・環境保全活動

事業の開始時期：平成15年4月

事業の協働・共催団体等：玉川上水の自然保護を考える会、立川手づくり公園の会、立川崖線の自然を守る会、立川ホテルと鳴く虫の会、ガニガラ田んぼネット 他

【事業の概要】

立川市は南に多摩川、北に玉川上水そして中央部に昭和記念公園と緑の多い自然環境に恵まれた地といえますが、多摩地域の中心都市としての位置づけが強く、自然環境、特に水と緑の大切さ、小さな生きものとのふれあいなどが弱いと言えます。私たち**立川かんきょう市民の会**は小学校での総合的な学習の時間等を通して、身近な自然の大切さや体験から得られる実感を生かした環境学習を、感性豊かな子どもたちに続けております。

【令和4年度の活動概要】

(1)市内小学校プールからトンボの幼虫ヤゴの救出

平成14年から始まった「小さな生きものの命の大切さ」をメインテーマとした環境プログラムです。命の大切さ、自然環境の保全、他の生きものとの共生などを学びます。コロナ対応のため、多くの制約の中で16の小学校で実施しました。

(2)ガニガラ田んぼネットへの活動支援

立川唯一の田んぼでの稲づくり体験は子どもたちにとって貴重な体験です。さらに私たちの主食であるコメ文化が伝承されることを願っています。なお、脱穀後の稲わらで「わらぼっちの一輪挿し」づくりを通して田んぼの存在を市民に啓蒙しています。

(3)自然素材の工作 どんぐり工作は季節もので10月下旬のどんぐり拾いに始まり、どんぐり乾燥、準備加工、サンプルづくりなどの手間作業の後の実施となるわけですが、コロナ対応により全面中止となりました。

(4)玉川上水でのホテル保全活動支援（6月上旬、ホテルが乱舞しています）

(5)自然豊かな玉川上水の樹林はかぶと虫の宝庫でもあります。今年は約10ペア採取。保育園や地域の子どもたちに提供しました。（小学校3年理科でかぶと虫・やごが取り上げられています）(6)玉川上水2ヶ所の水質（COD）検査を実施。旧残堀川は中止しました。(7)市内の小学校への総合的な学習の時間支援は、コロナ制約で中止となりました。



環境フェアでのどんぐり工作



小学校のプールでトンボのヤゴ救出活動

連絡先 住所：立川市砂川町6-34-9 高橋 由蔵 電話・FAX：042-535-2719

たちかわ水辺の楽校運営協議会

事業の名称：たちかわ水辺の楽校

事業の開始時期：平成 18 年 4 月

事業の協働・共催団体等：国土交通省京浜河川事務所、立川市環境対策課、
たまがわ・みらいパーク企画運営委員会、他行事によって協力団体や公立小学校

【事業の概要】

1. 身近な自然環境での観察会等を通じて、環境へ関心をもたせ子どもたちの豊かな感性をはぐくむための活動（多摩川を中心とした野鳥、植物、昆虫観察会、多摩川源流体験教室の実施）
2. 地域の特徴を生かした人や川やまちが交流できるような活動（環境フェアでのパネル展示、地域の行事、清掃活動への協力等）

【令和4年度の実施概要】

1. たまがわみらいパークでの共同の企画を実施しました。
親子参加が多く初日に定員に達するなど人気の企画、山梨県小菅村へ出かけて「多摩川源流体験教室」と12月と2月の野鳥観察会を行いました。
2. 立川市環境対策課「美しい多摩川クリーンアップ作戦 2022」に参加、協力しました。
3. 公立学校3校へ環境学習支援（水生生物観察会、植物観察会）を6回実施しました。



多摩川源流体験教室



美しい多摩川クリーンアップ作戦

【事業実施の効果・メリット】

拠点施設たまがわみらいパークでの活動への協力（会議参加や市役所展示）も約 15 年になります。積極的に連携を図っています。

【今後の目標等】

活動を継続させるための残堀川観察会は地域団体協力を得て実施しています。さらに観察会等参加者からさらにスタッフとしての参画になるような交流が課題です。

連絡先 住所：立川市幸町4-43-28-402 会長：松村久史
電話：090-5404-7345 会長：松村

立川自然観察友の会

事業の名称：樹林地の保全・育成管理

事業の開始時期：平成 24 年

事業の協働・共催団体等：立川市公園緑地課

【事業の概要】

立川自然観察友の会は、昭和 61 年に公民館で行われた自然観察の講座から出来た団体です。富士見町 3 丁目にある、多摩川由来の崖線である富士見公園樹林地の草刈、ごみ拾い、枯枝落ち葉の片づけ、貴重な在来種の野草の保護などの保全活動をしています。他にも、自然観察会の実施、写真展の開催もしています。平成 28 年には、会の結成 30 周年を記念して、立川崖線ウォークを行いました。

【令和 4 年度の実施概要】

- 毎月 1～2 回主に第 4 土曜日に、ごみ拾い、枝打ち、草刈り、枯枝の片づけ、植物の保護等を行いました。
- そだ柵の設置やカブトムシ・クワガタ発生場所作りを行いました。



【事業実施の効果・メリット】

樹林地の保全・育成管理を行い、優良な樹林地を未来に継承します。

【今後の目標等】

- 立川崖線全体の自然観察会（立川市域）
- 樹林地内外の温度測定（ヒートアイランド現象の実測）
- 湧水の温度年間測定（毎月 1 回）
- その他緑に関する学習会

連絡先 住所：立川市富士見町 3-18-17

電話：042-523-5688

NPO 法人 グリーンサンクチュアリ悠

事業の名称：保護樹林地保全活動・環境保全

事業の開始時期：平成 20 年

事業の協働・共催団体等：ネットワーク・市民アーカイブ、たすけあいワーカーズパステル

【事業の概要】グリーンサンクチュアリ悠は、幸町で立川市の保護樹林（季節の花や果樹・雑木林）などの保全活動をしているNPO法人です。私たちが緑地保全活動をしているのは、玉川上水の南側、約 2,100 m²の樹林地です。住宅街の中に位置し、四季を通じて様々な花が咲き、果実は実り、鳥や虫たちの憩いの場で、武蔵野の面影を残す貴重な緑地帯です。開発をせず、この自然のままに後世に伝えることを目的として活動しています。樹林地の維持は多くの人手と支援が必要で、毎週 2～3 日の午前中に保全活動をしています。会員の方には自由散策をしていただいたり、自然と触れ合う会を月に 1 回開催しています。また、年に 2 回、市内のさまざまな団体や個人の方をお願いして、緑地の中で楽しい催しなども行っています。立川市の公園緑地課や環境対策課とも連携を深め、貴重な緑地として、今後も保全していきたいと思っています。

会員の方にはMLや通信で緑地の様子をお伝えしています。会員募集中です。



【令和4年度の実施概要】

- 樹林地のごみ拾い、清掃、除草など日常的な保全活動を平均週 2～3 回。
- 果樹収穫や植樹などを楽しむ会。毎月 1 回開催（会員）。
- 自由散策・開放日（毎週月・木曜日 9：00～11：00）
- 外出がままならない方に自由散策・憩いの場として提供（会員）

【事業実施の効果・メリット】

- 貴重な植物や昆虫、鳥などが生息できる保全地を整備することで、植物多様性を維持し、またそれらを観察できる場を提供できます。
- 交流・学習の場として、緑地や交流会場を提供できます（会員限定）。
- 誰でも参加可能な立川市の保護樹林地の開放日を年 2 回開催し、ご希望があり日程があれば樹林地内をご案内できます（要予約）。
- さまざまな地域の団体とネットワークし、緑地を活用できます。

【今後の目標等】自然を愛し、あらゆる生物の共生を大切にする全ての人々に対して、立川市幸町の玉川上水南側崖線周辺に残る自然及び庭園の整備保全活動に関する事業を行うことにより、人と自然のよりよい関係づくりを構築します。会員 100 人を目指しています（年会費 3000 円です）。

連絡先 green_s_you@yahoo.co.jp 電話：042-396-2430（月・木曜 9:00～12:00）

ガニガラ田んぼネット

事業の名称：自然環境の保全・水田管理・農事と食育の伝承

事業の開始時期：平成29年

事業の協働・共催団体等：立川市公園緑地課、生涯学習推進センター、市内小学校、児童館、地域子ども会

【事業の概要】

ガニガラ田んぼネットは、立川公園ガニガラ広場内にある立川市内唯一の水田です。四季を通じた稲作を体験できる機会を設け、農事と食育の伝承を行っています。また、柴崎分水や立川崖線の湧き水を利用した田んぼやビオトープ内を管理するとともに、市民（主に子どもたち）の環境学習の場として動植物（カワニナ、ヤゴ、ホタル、淡水ヌマエビ、川魚、畦道の野草など）の観察保護などを行っています。

【令和4年度の実施概要】活動日：火曜・金曜 午前中（特別事業参加は日曜日）

（稲作）市民参加型の稲作体験とお米教室を6回開催しました。



5月・審種 ⇒6月・田起こし、田植え
⇒7～8月・水調整、田干し水田雑草処理
⇒10月・稲刈り、ハゼ掛け
⇒11月・脱穀、粳摺り精米
12月・試食会/1月（七草がゆ）

（保全活動）水田、ビオトープ一部保全整備、畦道保全・用水保全・カワニナなど保護
（環境学習）ホタル乱舞：5月下旬～6月中旬、多い日は10～14頭（今年は発生が早かった）

【事業実施の効果・メリット】

都会の生活では体験できない稲作を一年通して行う事で、次世代の田んぼ運営を担う育成者づくりにつながります。また、保護活動の結果、生き物の活動が見られるようになりました。（カワニナの自然繁殖：エサ・・・シタスが大好物・キャベツ・煮干し昆布など）



【今後の目標等】

四季にあわせた農事作業と食育教室、水生動植物等の環境体験活動、湧水の保全活動等をさらに進めていきたいと思っております。

連絡先 田んぼ関係 担当：加藤 042-524-7747
その他連絡先 担当：大島 070-3970-3780

たちかわエコパートナー

事業の名称：たちかわエコパートナー

事業の開始時期：平成21年3月

事業の協働・共催団体等：立川市

【事業の概要】

たちかわエコパートナーは、立川市環境対策課が実施した環境学習講座「たちかわエコパートナー講座」の卒業生を中心にしたグループです。地球環境問題や地域のごみ問題をはじめとしたさまざまな「エコ活動」の輪を広げることがをめざしています。また、私たち自身も環境問題についての知識を深めていながら、立川市や市民団体と連携・協力して活動を進めています。

【令和4年度の実施概要】

(1) イベント

- ①環境フェア こども未来センターの「立川市まんがぱーく大市」と合わせて実施され、勝目代表が実行委員長を務めました。たちかわエコパートナーは、どんぐり人形の絵付け体験と段ボールコンポストの展示を行いました。
- ②くらしフェスタ 古谷副代表が実行委員会に参画。どんぐり人形の絵付け体験、緑のカーテンのタネ配布を行いました。



(2) 環境学習支援

環境対策課との連携で次の活動を行いました。第二小学校・第一小学校4年生対象の「緑のカーテン（ゴーヤ）」柴崎保育園・西立川保育園・高松保育園・中砂保育園・上砂保育園・羽衣保育園で「自然観察会」「クリスマスリース作り」

(3) 環境対策課主催の「美しい多摩川クリーンアップ作戦」に協力しました。

(4) 定例会議はほぼ毎月開催されました。

【事業実施の効果】

今年度はイベント、環境学習支援を中心に行いました。自然環境の変化や大切さに気づき、環境問題についての知識を深めるきっかけになりました。

【今後の目標等】

会員自身の専門性をさらに高めながら、講座プログラムの新規開発、多くの環境団体との連携によって活動の幅を広げていくことを目指して行きたいと考えています。

連絡先 電話：042-521-1053 代表：勝目 達郎

環境フェア実行委員会

事業の名称：環境フェア

事業の開始時期：平成18年4月

事業の協働・共催団体等：立川市、合人社計画研究所グループ

※同時開催「立川まんがぱーく大市」（合人社計画研究所グループ）

【事業の概要】

環境フェア出展団体で構成される**環境フェア実行委員会**は、市民・事業者等が協力して作り上げる「環境フェア」を企画運営しています。

環境フェアは、広く市民の皆様に地球温暖化等の環境問題に目を向けていただき、無理なく楽しく取り組める「環境にやさしい生活」に触れていただく場となることを目的に開催しています。

環境フェアは、平成26年度以降「立川まんがぱーく大市」との連携で開催しています。令和4年度は、令和2年度、3年度と新型コロナウイルス感染症の影響で中止が続いていた為、3年ぶりの開催となり、立川市子ども未来センターで10月2日に開催しました。「こどもの未来へエコライフ」をスローガンに、出展14団体、来場者3,500人と活気あるイベントとなりました。

全体企画としてスタンプラリーを設け、スタンプを11個以上集めることで、間伐材使用のノートをプレゼントしました。



環境フェア・まんがパーク大市



スタンプラリー・環境クイズ

今後も、来場された方に少しでも環境に関するメッセージを持ち帰ってもらえるような仕組みづくりや内容の充実を図っていきます。

連絡先 所在地：立川市泉町1156-9 立川市役所環境対策課内

電話：042-523-2111 内線2244

市民・事業者の皆さんの活動には、ここに紹介させていただいた以外にも、まだまだ多くの方々の活動が様々な形で実施されていることと思います。それらの活動をご存知の方、また実際にご自身が活動に携わられている方、皆さんの環境活動の輪をより一層広げるためにも、是非、下記の連絡先まで情報をお寄せください。

紹介させていただいた団体等の活動内容について、もっと詳しく知りたいという方、是非一緒に活動してみたいという方は、各団体の連絡先または下記の連絡先までお気軽にお問い合わせください。

連絡先

立川市 環境下水道部 環境対策課

電話：042-523-2111 内線 2243・2244

E-mai：kankyoutaisaku@city.tachikawa.lg.jp

市の取組

ここまでは「市民・事業者の活動」にスポットを当てて紹介してきましたが、ここでは「環境にやさしい生活」の普及・推進を目的に実施している市の取組について、主に令和4年度に実施した内容を紹介いたします。

環境学習講座

事業の担当部署：環境対策課

事業の開始時期：平成19年度

【事業の概要】

快適な環境を守り、育てていくためには、一人ひとりの環境を大切に思う意識と主体的な行動が必要とされています。しかし、多くの方は、様々な問題が複雑に絡み合う今日の環境問題を目の当たりにすると、自分一人では何も変わらないような無力感に襲われてしまい、なかなか具体的な行動に結びついていないのが現状です。

そこで、市では、環境に配慮した生活を自ら実践するとともに、家族や友人、地域の方々を巻き込んで、環境の大切さと環境にやさしい生活を広めていただける方を増やすため、環境学習講座を実施しています。

令和4年度は、炭の脱臭剤、せっけんづくりを行いながら里山の現状や保全について学ぶ「炭づくりから里山を考える」の講座を実施しました。

今後も、身近な自然に目を向け感性や観察力を養う講座、施設を見学して環境に配慮した活動を学ぶ講座などを通じて、様々な知識を身につけながら、周囲の人に問題意識を投げかけ、行動を促すような人材の育成を目指していきます。



炭づくりから里山を考える

夏期の節電対策

事業の担当部署：環境対策課

事業の開始時期：平成 23 年度

【事業の概要】

令和 4 年度**夏期の立川市節電対策**については、7 月から 9 月を対象期間として、市民の健康等に配慮しながら、これまでの節電経験や昔ながらの知恵なども活かし、少ない電力で賢く、楽しく暮らす「生活習慣としての節電」を展開いたしました。

○ 家庭で出来る夏の節電取組事例の提案

(1) 家庭で取り組む基本的な節電対策の普及啓発

【例 示】

・冷房時にカーテンやブラインドを閉める
・エアコンのフィルターを掃除する（月 2 回程度）
・冷蔵庫の設定は「強」⇒「中」に変え、食品は詰め込みすぎない
・照明は、省エネで長寿命の LED 照明を使う
・冷蔵庫内の冷気が逃げないように、中にビニールなどで作ったすだれ状のものを付ける
・電気機器は使い終わったらプラグを抜くか電源タップを切るなど、できる範囲で待機電力を減らしていく

(2) 昔ながらの知恵を活かした取組の紹介

・「打ち水」「よしず」「すだれ」「うちわ」「扇子」「浴衣」「スイカ」「アサガオ」「風鈴」など江戸時代にも活用されていた、伝統的な夏を涼しくすごすためのアイテム・知恵を見直し、改めて取組を紹介しました。

(3) 「クールシェア」の推進

・皆で集まると楽しくて、エコになるクールシェアが注目されています。一人で冷房を使うより、皆で集まって一部屋を冷房することは、とても効果的な節電対策となります。

また、自宅ばかりでなく、図書館や学習館、福社会館、市役所本庁舎などの公共施設も身近な涼みの場として活用を促しました。

(4) 家庭で取り組むエコチャレンジ 2022 【参加者募集】

・「地球温暖化」を抑制するための取組の一つとして、一人ひとりの省エネ行動が、非常に重要となります。

家庭における省エネ行動啓発のため家庭で取り組むエコチャレンジ 2022 を紹介しました。

(5) 熱中症対策など 「立川市ひと涼み声かけプロジェクト」の実施

- ・ 熱中症に対する注意喚起の声かけの輪を広げ、地域ぐるみで熱中症予防の取組を推進しました。
- ・ 熱中症対策として、市施設を「ひと涼みスポット」として活用を呼びかけました。
- ・ プロジェクト協力事業者による「ひと涼みスポット」の協力、熱中症予防啓発ポスターの掲出等を行いました。
- ・ 「ひと涼みスポット」マップによる周知と誘導を行いました。
- ・ 熱中症予防について、広報等で周知しました。
- ・ 防災無線等を活用して、熱中症予防を呼びかけました。



全国的に電力需要が高まる夏を迎えます。健康や感染予防に配慮しながら、これまでの節電取り組みや昔ながらの知恵なども活かして、暑い夏を乗り越えましょう。一人ひとりの節電取り組みが、地球温暖化を抑えるための大きな力となります！家庭や職場で無理なく実施できるものに取り組みましょう。

新型コロナウイルス感染症対策での「新しい日常」を取り入れながら節電に努めましょう

- 無理のない範囲で室温28℃を心がけよう
- 冷房時にはカーテンやブラインドを閉めよう
- 無理のない範囲でエアコンを消して、扇風機を使う
- エアコンのフィルターを掃除しよう(月2回程度)
- 冷蔵庫の設定は「強」⇒「中」に変え、食品は詰め込みすぎないようにしよう
- 冷蔵庫内の冷気を逃がさぬよう、中にビニールのすだれなどを付けてみよう
- 昼間は太陽の光を利用して、照明を可能な範囲で減らそう
- テレビは省エネモードに設定し、画面の輝度を下げよう
- 電気機器は、使い終わったらプラグを抜くか電源タップを切るなど、可能な範囲で待機電力を減らそう
- 照明は、省エネで長寿命のLED照明を使おう
- 燃費とマナーを考慮してエコドライブを心がけよう(ふんわりアクセルなど)
- なるべく公共交通機関を利用しよう



昔ながらの知恵を活かし、暑い夏を涼やかに過ごすコツ
「打ち水」「よしず」「すだれ」「うちわ」「扇子」「浴衣」「スイカ」「アサガオ」「風鈴」など、夏を涼しく過ごすための伝統的な涼みの文化を、この夏に活かしてみませんか。

「クールシェア」のススメ

皆で集まる楽しくて、エコになるクールシェアが目まぐるしく注目を浴びています。一人で冷房を使うより、皆で集まってひとつの部屋で冷房を使うと、とても効果的な節電対策となります。また、自宅ばかりでなく、図書館や学習館、福祉会館、市役所本庁舎などの公共施設も、身近な涼み処としてご利用ください。

立川市ひと涼み声かけプロジェクトについて



熱中症は病気ではなく、水分をとること、部屋を涼しくすること、休息をとること、栄養をとることなどで防ぐことができます。「ちょっと、ひと涼みませんか」と声をかけあうゆとりと気遣いをもつことが、熱中症から人の命を救うこととなります。

市では、暑さをしのいで、ひと涼みできる市の施設や市内協力店舗等を案内した「立川ひと涼みスポットマップ」を、市の各施設で配布いたします。暑い日は無理せず、早めにひと涼みすることで熱中症を防ぐことができます。今年は、「ひと涼みスポット」として 236 か所の協力店舗等を開設いたします。施設や店舗の営業に支障のない範囲でのご協力となりますが、是非、ご利用ください。マップにつきましては市ホームページにも掲載いたします。

「立川市ひと涼み声かけプロジェクト」のお問合せ先:福祉保健部健康推進課 527-3632

家庭で取り組むエコチャレンジ2022【参加者募集】

「地球温暖化」を抑えていくためのひとつの取り組みとして、一人ひとりの省エネ行動が、非常に重要となっています。立川市では、「家庭で取り組むエコチャレンジ2022」を企画し、家庭における省エネ行動に取り組み、「地球温暖化」の緩和につなげていきたいと考えています。

- 実施内容:事前にお申込みの上、各家庭において市より配布されるチェックシートを利用しながら省エネ行動に取り組んでいただきます。(チェックシートは、7月中旬以降に配布予定)
- 対象:小学生と保護者で1チーム(先着100チーム予定)
- 期間:8月1日~8月31日の内10日間(期間は、チームで決められます)
- 特典:チェックシートを提出していただいたチームには、達成賞や素敵な景品をご用意しています。*詳しくは、下記へお問い合わせください。

問合せ 立川市 環境下水道部環境対策課
申込み 電話: 042(526)4341(直通)
FAX: 042(524)2603
メール: kankyoutaisaku@city.tachikawa.lg.jp

この印刷物は、再生紙を使用しています。

「家庭で取り組む 節電対策 2022」チラシ
立川市ホームページに掲載

○ 市の施設における節電対策

立川市役所では、独自の環境マネジメントシステムである「エコオフィスプラン21」の取組によって、昼休み、退庁時、不在時の消灯や室内温度の適正管理などを徹底し、市内の公共施設における省エネ・節電に取り組んでいます。

今後も、市民サービスへの影響を配慮しながら、引き続き節電に取り組めます。なお、市では夏期に限らず、ウォームビズの推進や暖房時の適切な室内温度設定などを職員に周知し、冬期においても節電対策を実施しています。

中小企業 CO₂ 排出量削減事業

事業の担当部署：環境対策課

事業の開始時期：平成 21 年度

【事業の概要】立川市は、多くの事業所が集積して経済活動を行っていますので、使用されるエネルギーの割合も多く、それに伴う CO₂ 排出量も多くなっています。事業所などからの CO₂ 排出量は、立川市全体の 43.7%（2020 年度、「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」による算定）になります。立川市内の事業所の大多数が、中小企業という産業構造上の特徴があることから、中小企業からの CO₂ 削減対策は、大きな課題となっています。

こうした背景があるなか、地球温暖化対策を地域から推進するため、市内事業所の多くを占める中小企業の CO₂ 排出量削減を促進する各種事業を行ってきました。

具体的には次のような事業に取り組んでいます。

1. 商工会議所と連携して中小企業の CO₂ 排出量削減に関する普及啓発や情報提供、セミナーや研修会等を実施し、中小企業の CO₂ 削減及び経費削減を推進しています。
2. 中小企業が CO₂ 削減に取り組むきっかけとして、公益財団法人東京都環境公社 東京都地球温暖化防止活動推進センター（クール・ネット東京）が行う省エネルギー診断（原油換算 15kL 未満は省エネルギー現地アドバイス、原油換算 15kL 以上は省エネルギー診断）へ誘導を行っています。省エネルギー診断では、事業所の現在のエネルギー使用状況等から、運用改善による CO₂ 削減対策や設備の導入による CO₂ 削減の提案を行っています。

令和 4 年度 省エネルギー診断受診事業所 11 件

3. 省エネルギー診断の設備改善提案に基づいて実施する省エネルギー設備改修に対して補助を行っています。

なお、平成 29 年度より補助内容を見直し、都内中小クレジットの創出を補助要件とせず、省エネルギー診断の設備改善提案に基づいて実施する省エネルギー設備改修補助制度に変更しています。

令和 4 年度 中小企業 CO₂ 排出量削減設備改修補助件数 9 件
推計 CO₂ 削減量 30t-CO₂

中小企業のCO₂削減優良取り組み例



誘導灯 (LED)



照明 (LED)



省エネ型空調機



温度設定の奨励



蓄電システム



デマンドシステム

エコオフィスプラン 21

事業の担当部署：環境対策課

事業の開始時期：平成 12 年度

【事業の概要】

市役所は 1,000 人を越える職員を抱える大規模な事業所であり、多くのエネルギーを使用している大規模エネルギー消費者でもあります。本市の目指すべき環境像「人と自然を育み 住みやすさを創るまち」の実現に向けて、市民・事業者の環境行動の推進と合わせ、市が自ら率先して規範となる行動をとる必要があります。

立川市役所では、平成 12 年度より本庁舎を中心とした各職場において、独自の環境マネジメントシステムであるエコオフィスプラン 21 のもと、環境負荷削減の推進を図っています。

「エコオフィスプラン 21」では、各職場から職場推進員を選任し「省資源」、「省エネルギー」、「ごみ減量・リサイクル」について、各推進員を中心に、次のような環境配慮行動に職員一人ひとりが取り組んでいます。

○省資源（用紙類の使用量削減）

- ・コピーの際は、できるだけ両面コピーをします。
- ・各職場に設置してある裏紙用リサイクルスタンプ、ストック用ボックスを活用し、裏紙利用を推進しています。



裏紙ストック用ボックス



裏紙用リサイクルスタンプ

○省エネ（電力の使用量削減）

- ・冷房時 28℃、暖房時 20℃の室温になるよう温度設定を行います。
- ・始業前、退庁時、昼休みの基本消灯をしています。
- ・電気ポット、コーヒーメーカー類の使用を原則禁止しています。
- ・OA 機器類は使っていないときは、電源を OFF にします。



エアコンの温度設定

○ごみ減量・リサイクル（ごみの減量・発生抑制）

- ・ごみの分別を徹底しています。
*個人ごみは持ち帰りとしています。
- ・古紙分別用ポケット等を活用し、古紙の分別、リサイクルを徹底しています。



分別意識向上のための透明ゴミ箱



古紙分別ボックス



古紙分別用ポケット

生物多様性推進事業

事業の担当部署：環境対策課

事業の開始時期：平成 27 年度

事業の協働・共催団体等：NPO法人教育支援協会東京西

【事業の概要】

立川市では、生物多様性の考え方を周知啓発するために、学習会、自然観察会などを実施しています。また、環境市民団体等と連携して生き物の状況把握を行っています。

【令和4年度の活動】

○立川いきものデータベース

立川いきものデータベースは、生き物の写真を投稿することを通じて、多くの人たちが自然にふれあう機会をつくり、生き物に興味・関心を持ってもらうことを目的に、平成 28 年 9 月から開始しました。

昆虫、野鳥、野草、魚貝類、両生・爬虫類、哺乳類（野生）の投稿を受付し、データを公開しています。

○講座、自然観察会

令和4年度は、講座、自然観察会を2回行いました。

日時	名称	講師	場所
11月 5日	矢川緑地のいきもの観察	川上洋一先生	矢川緑地
2月 4日	野鳥講座 「わかる気がする野鳥 の気持ち・わかってほし い野鳥の現実」	森下英美子先生	立川市女性総合センター・アイム

講座、自然観察会を引き続き開催し、より多くの方が自然や生きものに興味を持っていただけるようにできればと考えています。



矢川緑地のいきもの観察



野鳥講座

ボランティアによる樹林地等の保全活動

事業の担当部署：公園緑地課

事業の開始時期：平成23年度

事業の協働・共催団体等：NPO 法人グリーンサンクチュアリ悠、NPO 法人集住グリーンネットワーク、立川自然観察友の会、立川崖線の自然を守る会、ガニガラ田んぼネット

【事業の概要】立川市では市が管理している緑地や樹林地等の保全、育成及び管理を、市民等で構成されるボランティアとの協働により進めています。

ボランティアは、落ち葉・枯れ枝の清掃などの保全活動を年6回以上行い、他にも自主的に企画、活動することができます。市は緑地、樹林地等保全ボランティア団体の支援として、アドバイザーの派遣や道具の貸与等を行っています。

現在、5カ所の樹林地等で5つのボランティア団体が活動しています。

【令和4年度の活動】

○幸町保護樹林地（A1、A2、A13、A14）— グリーンサンクチュアリ悠

- 幸町五丁目玉川上水南側崖線周辺に残る、緑地と保護樹林地の整備と保全活動を行っています。
- ①緑地保全事業（除草、ごみ拾い、清掃など）を週2～3回、②年2回の樹林開放日、定例一斉作業と緑地を楽しむ会（原則毎月第2月曜日）、③果実の収穫やジャムづくり（不定期）、④広報活動（年3回）、⑤緑地開放（随時）を中心に行っています。住宅街に残る貴重な緑地をご一緒に守ってくださる会員募集中です。

○立川公園 根川緑道 — 集住グリーンネットワーク

- サクラを通じた地域コミュニティの創出、サクラを保全する市民の育成を活動目的とし、根川緑道のサクラの点検・保全活動・ごみ拾いを行いました。



サクラの樹木の保全風景

○富士見公園樹林地 — 立川自然観察友の会

- 多摩川由来の崖線である富士見公園樹林地の保全、育成、管理を行っています。
- 毎月1～2回主に第4土曜日に、ごみ拾い、枝打ち、草刈り、枯枝の片づけ、植物の保護等を行いました。また、カブトムシやクワガタの発生場所作りを行いました。

○富士見緑地と立川崖線緑地保全用地 — 立川崖線の自然を守る会

- 立川崖線の樹林地や湧水などの自然環境を守り、立川崖線の生物多様性を保全・持続することを目的とし、自然環境の調査や観察、環境保全の学習、環境保全の啓発等の活動を実施し、近隣の地域住民及び会員相互の向上と親睦をはかっています。
- 毎月第2・第4火曜日 9:30～11:30 に作業しています。隔月の第4火曜日に樹林地のごみ拾い、枯れ枝や倒木の除去、階段の草刈り、外来種の除去などの活動を行いました。また令和4年度から湧水の水量推移の計測をはじめました。

○立川公園 — ガニガラ田んぼネット

- 立川唯一の水田の維持管理をし、その水田で子どもたちに稲作を一年通して体験してもらうプログラムを行っています。また用水、湧水の保全等水生動植物の保護を行っています。令和4年には、ホタルの幼虫300頭の放流を行ったところ、6月下旬から7月上旬にホタルが飛ぶ姿がみられました。
- 毎週火・金曜日の午前中に、水田管理の活動を行っています。(季節により変更あり)

消費生活関連事業の実施

事業の担当部署：生活安全課消費生活センター係

事業の名称：消費生活講座

事業の開始時期：平成4年度

事業の協働・共催団体等：女性総合センター利用登録団体

【事業の概要】

市民を対象に、「消費生活」に関わるさまざまな問題や関心事を取り上げて、問題意識を高めてもらい、心豊かな生活を送ってもらえるようにします。

【令和4年度の実施概要】

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を取ったうえで、13 講座を開催しました。3 年ぶりに市内のはたけ見学会を実施しました。

実施講座内訳

料理（一般対象 2 講座、親子参加 1 講座）、映画会、布ぞうり作り、体操（2 講座）、経済（社会保険と扶養 1 講座、家計 1 講座）、工作（壁庭園、新聞ちぎり絵）、エコライフ（ソーラー電池）、立川のはたけ！見学と交流会

【事業実施の効果】


地元・立川を知る機会となり、講座に参加することで市民同士の交流を図ることにもつながります。また、女性総合センターに足を運んでいただくことで、消費生活センターの紹介・利用のきっかけにもなります。


親子料理教室



立川のはたけ！見学会と交流会



事業の名称：たちかわフリーマーケット村
事業の開始時期：平成7年度
事業の協働・共催団体等：立川市消費者団体連絡会（出店者は一般公募）
<p>【事業の概要】</p> <p>家庭で不要になった物を再利用するため、年に一度フリーマーケットを開催しています。平成26年度から会場をサンサンロードに移し、毎回多くの方に足を運んでいただいています。また、農業経営者クラブのみなさんにご協力いただき、採れたての地元野菜を販売していただいています。</p> <p>【令和4年度の実施概要】</p> <p>令和4年11月5日(土)に開催し、34店舗が出店し、601人の来場がありました。</p> <p>【事業実施の効果】</p> <p>普段から人通りの多いサンサンロードで開催しているため、通りがかりの方や昭和記念公園、大型商業施設（IKEA等）へ行く途中の方も足を止めています。令和2年4月から新たな商業施設（GREEN SPRINGS）が開業したことで、さらなる人出が期待できます。</p>


事業の名称：おもちゃの病院（リサイクル活動支援事業）	
事業の開始時期：平成3年	
<p>【事業の概要】</p> <p>子どものころから、「物を大切にする心を育てる」とともに、ごみの減量を目的に実施しています。おもちゃを修理する先生の確保が課題となっています。</p> <p>【令和4年度の実施概要】</p> <p>女性総合センター・アイム5階作業室で5回実施し、年間受付件数は134件でした。</p>	

事業の名称：くらしフェスタ立川（消費者団体活動支援事業）

事業の開始時期：平成 14 年度

事業の協働・共催団体等：くらしフェスタ立川実行委員会、中央大学（包括連携協定）

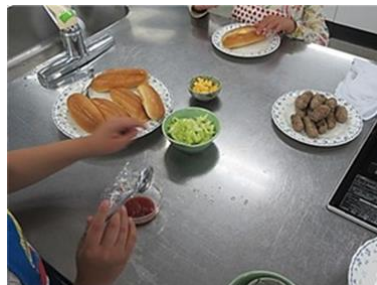
【事業の概要】

「くらしフェスタ立川」は、消費者団体の活動支援及び消費者の意識啓発を目的としています。毎回テーマを決め、そのテーマに沿った内容を学習し、広く消費者へ啓発しています。

【令和4年度の実施概要】

令和4年5月に実行委員会を立ち上げて準備を進め、令和5年2月18日（土）・19日（日）に3年ぶりに開催することができました。

女性総合センターに足を運んでもらうことで、消費生活に関する知識の普及や情報提供ができました。



環境関連講座の実施

事業の担当部署：生涯学習推進センター

事業の開始時期：平成3年度

事業の協働・共催団体等：ガニガラ田んぼネット、地球温暖化防止全国ネット、生涯学習市民リーダー

【事業の概要】生涯学習推進センターでは、気候変動やごみ減量などの環境問題を身近な課題として認識してもらうとともに、自然の恵みに感謝し、自然環境を大切にすることを育むように、子どもから大人まで様々な年代の方を対象に、自然や環境をテーマとした講座を実施しています。令和4年度は、4講座を延べ9日間開催し、140名の方に参加していただきました。「田んぼ体験をしよう!」、「環境マークを集めて意味を調べてみよう!」、「たちかわのお米 de 七草粥」、「心とからだ、環境にやさしい手作りせっけん」を実施し、生活の中で身近な自然環境との関わりの大切さを体験できる機会を提供しました。「田んぼ体験をしよう!」では、田植えとじゃがいも掘りの2グループ入れ替え制で感染症予防対策を行いながら実施し、稲刈りの時は同様にさつま芋堀を行いました。その後、脱穀・粃摺り・試食会を行い、田植えから試食迄の流れを学習しました。「環境マークを集めて意味を調べてみよう!」では、環境配慮型購買や3R運動などへの行動変容を促すものとなりました。「たちかわのお米 de 七草粥」では、郷土の田んぼとお米について子どもたちに学んでもらう機会を提供しました。「心とからだ、環境にやさしい手作りせっけん」は、環境への配慮をテーマに楽しみながら学習できる内容としました。

生活環境の中で身近なテーマを体験してもらうことで、自然、人、環境とのかかわりについて、実感として学んでもらうことができました。

生涯学習推進センターでは、講座の企画段階から協力団体及び関係部署等と連携して実施内容の検討を行い、交流の場や機会の提供、現代的課題を取り上げながら、市民ニーズにこたえる事業の推進に努めていきたいと考えています。



田植え



稲刈り



脱穀



粃摺り



試食会



環境マーク



七草粥



手作りせっけん

喫煙対策事業

事業の担当部署：環境対策課

事業の開始時期：平成 16 年度

【事業の概要】

タバコを吸う人と吸わない人の共存を目指す「立川市安全で快適な生活環境を確保するための喫煙制限条例」を多くの方に知ってもらうための啓発活動を実施しました。具体的には、次のようなことに取り組みました。

1. キャンペーンの実施…関係団体や事業者などで組織する喫煙マナーアップ実行委員会を中心に 18 回実施（市内各駅周辺にて）
2. 路面標示など掲示物による啓発…市内全域で歩きタバコとポイ捨てが禁止であることを示す路面標示シートの設置及び管理



J R 立川駅北口でのキャンペーン

立川市安全で快適な生活環境を確保するための喫煙制限条例

市内全域 公共の場所では
歩きタバコとポイ捨ては禁止!!

立川市キャラクター
くるりん

立川市キャラクター「くるりん」のイラストが描かれたデザインです。

立川市安全で快適な生活環境を確保するための喫煙制限条例

〈特定地区〉

- 立川駅・西国立駅周辺は
- 路上喫煙が禁止

○まちの美観の保全
○青少年の健全育成
○受動喫煙防止

ご理解・ご協力をよろしくお願いします

立川市喫煙マナーアップ実行委員会
立川市 ~にぎわいとやすらぎの交流都市 立川~

NO!

配布しているポケットティッシュのデザイン

立川駅周辺の特定地区内における歩行喫煙率は、平成 19 年 12 月（条例施行前）が 2.68%（喫煙者 582 人／通行者 21,741 人）であったのに対して、令和 4 年 8 月には 0.14%（喫煙者 23 人／通行者 16,811 人）にまで減少しました。（土曜日・日曜日の 2 時間定点調査）



喫煙禁止路面シート

立川市公園等清掃美化協力委員会

事業の担当部署：公園緑地課

事業の開始時期：平成12年4月

【事業の概要】

公園等清掃美化協力委員会は地域の団体に市内の公園や緑地で清掃・除草・点検などをお手伝いしていただく制度です。自治会、老人会等で自主的に組織していただき公園等を日常的に清掃、除草等で携わっていただき、自らの公園としての意識と愛着をもってもらい、もって公園を常にすがすがしいものとすることを目指します。

令和4年度は、64団体の地元の自治会、老人会等にご協力していただき、立川市内にある公園や緑地、77公園で清掃や除草等の活動をしていただきました。

近隣住民が組織した団体が、公園内の清掃、除草や遊具等の点検をすることで、参加した住民が公園に愛着を持ってもらい公園の美化を気にする機会を得ることができました。

参加していただく団体を増やし、身近な公園に愛着をもって見守る住民を増やし、多くの公園の美化につなげていきたいです。また、公園を見守る目が増えることで子ども達が安心して遊べるようにしていきたいです。

ロードサポーター事業

事業の担当部署：道路課

事業の開始時期：平成 18 年度

【事業の概要】

ロードサポーター事業では、アドプト制度により、地域の住民団体・企業と市が協働し、ボランティアによる道路の美化活動（ごみや落ち葉の清掃、除草等）を行っています。

具体的には、歩車道の美化活動として、ごみ拾い、街路樹の落ち葉清掃、植樹ますの除草・草刈りなどを行います。市は、ボランティア団体に対して、ボランティア保険の加入、ほうきなど清掃用具、ごみ袋など消耗品の支給の支援を行っています。

令和4年度は、地域の住民団体・企業などの21団体の参加があり、立川市道12,203m、52路線の美化活動に取り組むことができました。

ロードサポーター事業を通じて、地域の住民団体や企業と協働し、道路の美化活動を進めることができ、参加者の身近な道路を大切にする意識の向上が図られています。

今後は、身近な道路を大切にする意識を更に向上するように、問い合わせに対して親切、丁寧に活動内容等を説明していきます。

その他の取組

女性総合センターや地域の学習館が主催する講座の他、市民の皆さまの企画・運営による講座が「市民交流大学」において、様々なテーマで実施されています。これらの講座は、随時「広報たちかわ」の紙面や立川市ホームページを通じて参加者募集のお知らせをしています。

環境問題は意識しているけれど、何をしたらいいのかわからないという方、是非一度これらの講座に参加してみてください。講座の中には、きっとあなたにもできる「環境にやさしい生活」のヒントが隠されているはずです。

「広報たちかわ」は毎月10日と25日に発行、各ご家庭のポストに届きます。
立川市ホームページは、

<https://www.city.tachikawa.lg.jp/>

よりご覧いただけます。

資料編

1 調査地点

(1)測定局

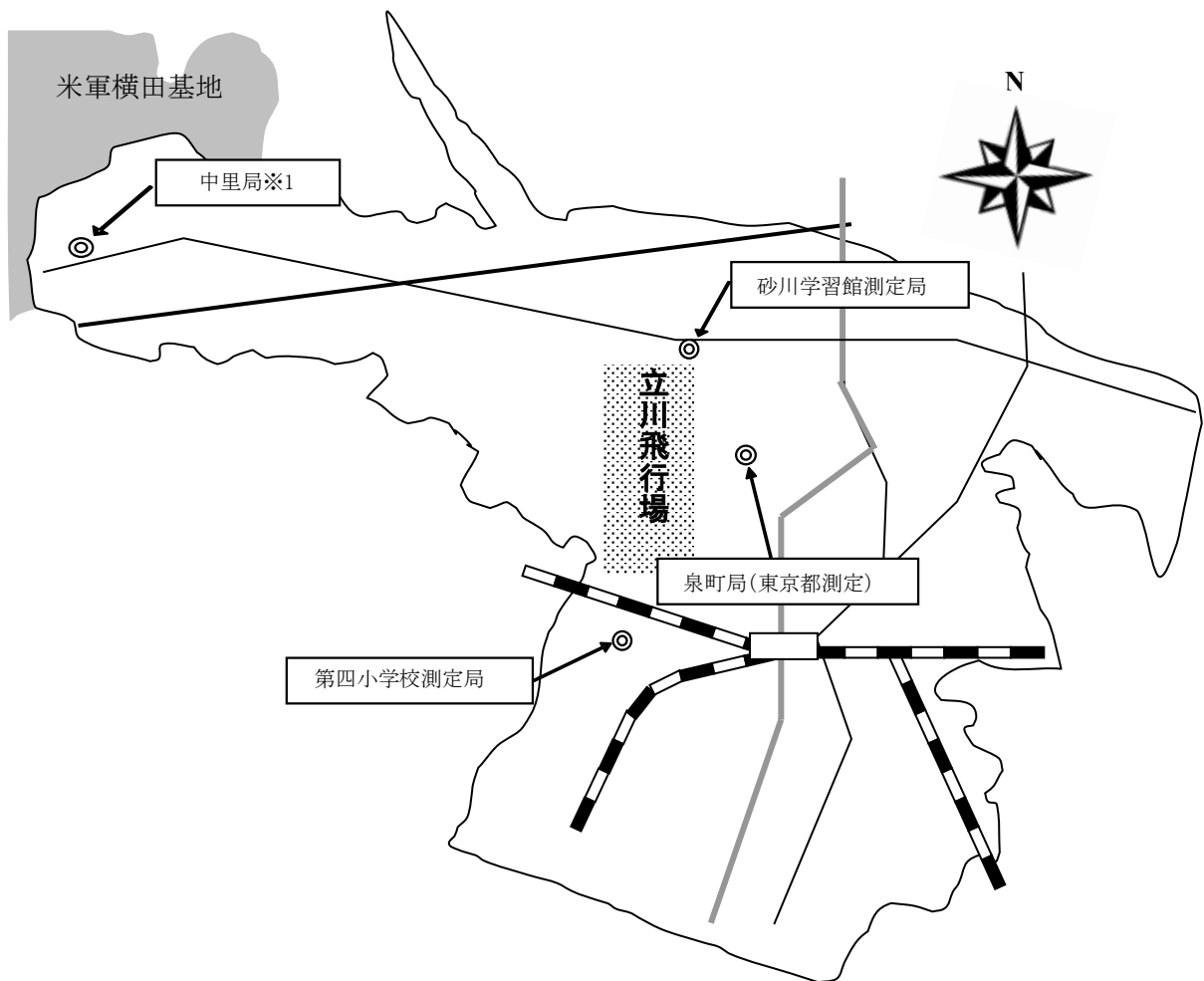
中里局・・・・・・・・温度・湿度、風向・風速、航空機騒音

泉町局・・・・・・・・大気汚染常時監視、温度・湿度、風向・風速

(東京都測定局)

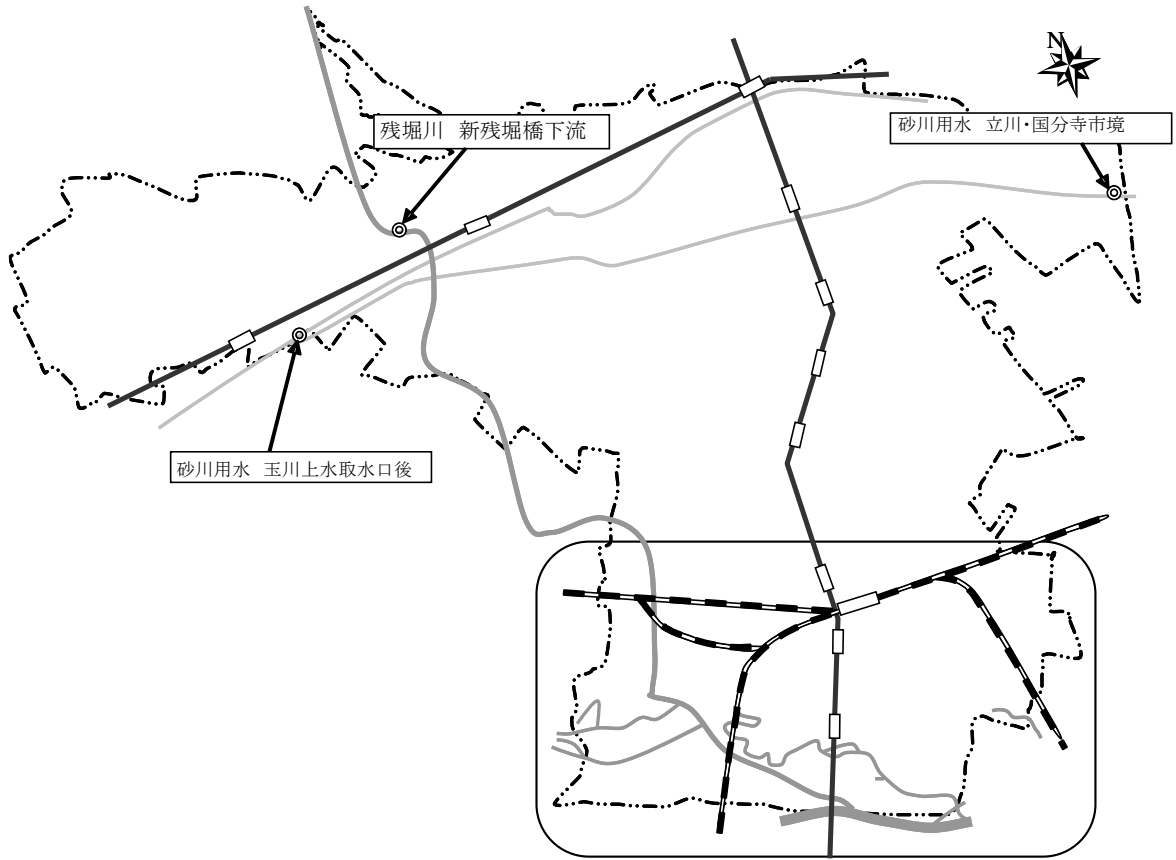
砂川学習館測定局・・・風向・風速、航空機騒音

第四小学校測定局・・・風向・風速、航空機騒音

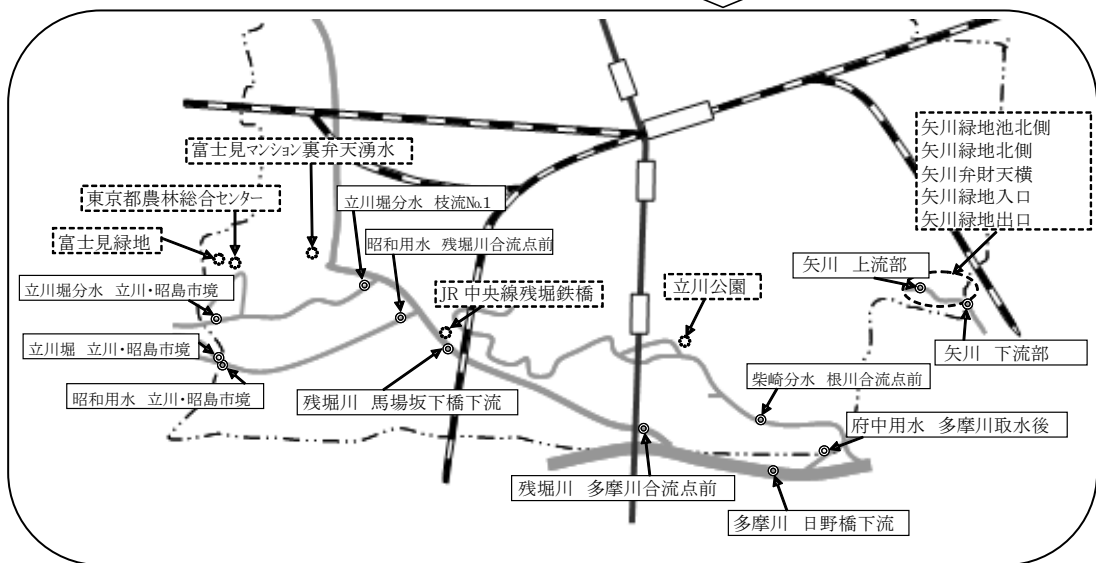


※1 中里局の大気汚染常時監視は、平成 28 年 8 月 31 日をもって測定を終了しました。

(2) 水質調査実施地点

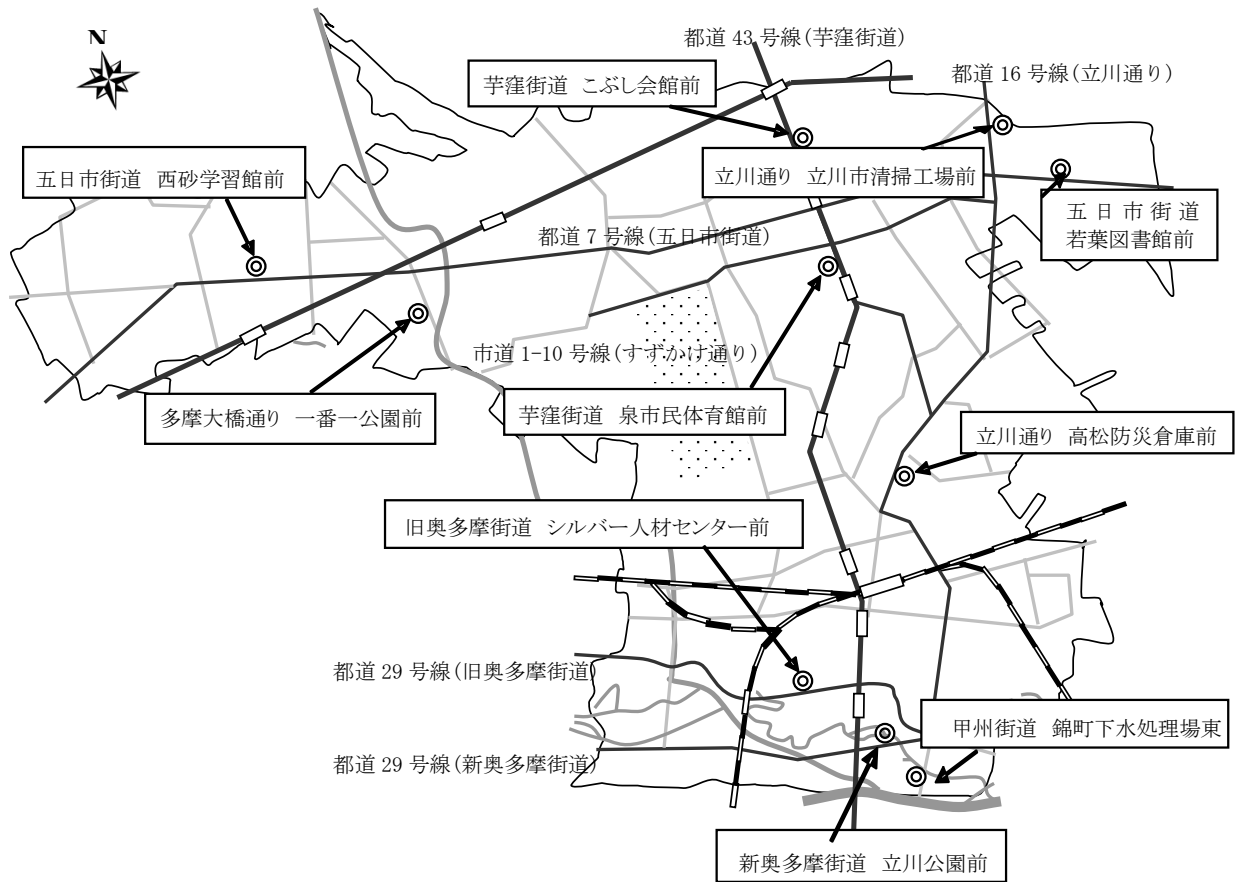


拡大図



※用水の名称は、通称名が含まれます。

(3) 道路沿道調査実施地点



注1) 平成 31 年度に 1 箇所 の測定地点の見直しを行いました。

新奥多摩街道 下水処理場北 ⇒ 立川公園前

注2) 台風の影響で橋が損壊したため、甲州街道下水処理場東の調査地点は、平成 31 年度欠測になりました。

2 調査結果 ※調査は全て令和4年度に実施されたものです。

有効測定日数は測定時間を 24 時間で割って算出しているため、端数処理の影響で月と通年の日数が合わない場合があります。

(1) 大気汚染常時監視測定結果

①浮遊粒子状物質 (SPM)

泉町局(東京都測定結果)

令和4年度

月	項目 有効測定 日数 (日)	測定時間 (時間)	平均値 (mg/m ³)	1時間値 の最高値 (mg/m ³)	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数 (日)
4	30	716	0.013	0.037	0
5	30	692	0.012	0.032	0
6	30	716	0.015	0.044	0
7	31	740	0.014	0.042	0
8	31	739	0.016	0.048	0
9	30	716	0.012	0.028	0
10	30	685	0.010	0.028	0
11	30	714	0.010	0.029	0
12	31	740	0.006	0.020	0
1	31	740	0.008	0.040	0
2	28	659	0.009	0.025	0
3	31	740	0.013	0.037	0
通年	363	8,597	0.012	0.048	0

②微小粒子状物質 (PM2.5)

泉町局(東京都測定結果)

令和4年度

月	項目 有効測定 日数 (日)	測定時間 (時間)	平均値 (μg/m ³)	1時間値 の最高値 (μg/m ³)	日平均値が35μg/m ³ を超えた日数 (日)
4	30	716	9.7	27	0
5	30	691	8.9	26	0
6	30	718	10.2	32	0
7	31	740	7.9	30	0
8	31	739	9.5	28	0
9	30	717	7.0	18	0
10	31	741	6.3	24	0
11	28	640	7.6	29	0
12	31	737	5.6	19	0
1	31	739	7.6	36	0
2	28	661	8.5	26	0
3	31	742	9.7	39	0
通年	362	8,581	8.2	39	0

③一酸化窒素 (NO)

泉町局(東京都測定結果)

令和4年度

月	項目	有効測定 日数 (日)	測定時間 (時間)	平均値 (ppm)	1時間値 の最高値 (ppm)
4		30	709	0.000	0.013
5		31	733	0.000	0.008
6		30	710	0.001	0.009
7		31	734	0.001	0.010
8		31	732	0.001	0.010
9		30	710	0.001	0.028
10		31	734	0.002	0.035
11		30	709	0.003	0.046
12		31	735	0.004	0.079
1		31	729	0.004	0.061
2		28	649	0.002	0.060
3		31	734	0.002	0.033
通年		365	8,618	0.002	0.079

④二酸化窒素 (NO₂)

泉町局(東京都測定結果)

令和4年度

月	項目	有効測定 日数 (日)	測定時間 (時間)	平均値 (ppm)	1時間値 の最高値 (ppm)	日平均値が0.06ppm を超えた日数 (日)
4		30	709	0.008	0.025	0
5		31	733	0.007	0.025	0
6		30	710	0.008	0.028	0
7		31	734	0.007	0.024	0
8		31	732	0.007	0.025	0
9		30	710	0.007	0.033	0
10		31	734	0.010	0.045	0
11		30	709	0.012	0.045	0
12		31	735	0.014	0.043	0
1		31	729	0.014	0.042	0
2		28	649	0.012	0.039	0
3		31	734	0.011	0.034	0
通年		365	8,618	0.010	0.045	0

⑤温度・湿度 (TEMP/HUM)

中里局 令和4年度

項目 月	有効測定 日数 (日)	測定時間 (時間)	温 度			湿 度 (%)
			平 均 値 (℃)	1 時間値 の最高値 (℃)	1 時間値 の最低値 (℃)	
4	30	720	14.6	28.3	-1.7	72.0
5	31	744	18.0	30.3	6.7	72.0
6	30	720	22.5	38.0	13.0	76.0
7	31	744	27.0	37.4	20.4	77.0
8	31	744	27.0	39.7	18.7	78.0
9	30	720	23.8	32.7	15.8	79.0
10	31	744	15.9	30.6	4.6	78.0
11	30	720	12.8	25.6	3.2	74.0
12	31	744	5.5	17.5	-4.3	64.0
1	31	744	3.6	14.5	-8.3	59.0
2	28	672	5.6	20.4	-5.4	55.0
3	31	744	11.7	23.6	-1.2	68.0
通 年	365	8,760	15.7	39.7	-8.3	71.0

泉町局(東京都測定結果) 令和4年度

項目 月	有効測定 日数 (日)	測定時間 (時間)	温 度			湿 度 (%)
			平 均 値 (℃)	1 時間値 の最高値 (℃)	1 時間値 の最低値 (℃)	
4	30	720	14.8	27.4	1.5	69.1
5	31	744	18.3	29.4	8.3	69.0
6	30	720	23.2	37.0	14.6	74.1
7	31	744	27.7	37.5	22.2	77.0
8	31	739	27.6	38.9	18.5	77.4
9	30	720	23.9	31.1	16.0	78.7
10	31	744	16.2	28.7	6.4	75.1
11	30	720	13.4	24.4	5.2	70.2
12	31	744	6.3	16.4	-0.9	58.3
1	31	744	4.3	13.1	-5.7	53.7
2	28	664	6.1	18.4	-3.2	52.2
3	31	744	11.9	22.5	2.1	66.3
通 年	365	8,747	16.1	38.9	-5.7	68.4

(2) 光化学スモッグ発令地区



地域	区東部	区北部	区西部	区南部
基準測定点	①千代田区神田司町 ②中央区晴海 ③港区高輪 ④港区台場 ⑤江東区大島 ⑥江戸川区鹿骨 ⑦江戸川区春江町 ⑧江戸川区南葛西	⑨荒川区南千住 ⑩足立区西新井 ⑪葛飾区鎌倉	⑫国設東京(新宿) ⑬文京区本駒込 ⑭中野区若宮 ⑮杉並区久我山 ⑯板橋区氷川町 ⑰練馬区石神井 ⑱練馬区北町	⑲品川区豊町 ⑳品川区八潮 ㉑目黒区碑文谷 ㉒大田区東糀谷 ㉓世田谷区世田谷 ㉔渋谷区宇田川
地域	多摩北部	多摩中部	多摩西部	多摩南部
基準測定点	㉕武蔵野市関町 ㉖小平市小川町 ㉗西東京市田無町 ㉘東大和市奈良橋 ㉙清瀬市上清戸	㉚立川市泉町 ㉛府中市四谷 ㉜調布市深大寺南町 ㉝小金井市本町 ㉞狛江市中和泉	㉟青梅市東青梅 ㊱福生市本町	㊲八王子市片倉町 ㊳八王子市館町 ㊴町田市金森 ㊵町田市能ヶ谷 ㊶多摩市愛宕

※立川市は「多摩中部」に分類されています。

(3) 光化学スモッグ注意報発令状況

経年

発令区 年度	区東部	区北部	区西部	区南部	多摩北部	多摩中部	多摩西部	多摩南部	合計
	R2年度	2	2	5	5	2	1	0	1
R3年度	1	2	3	1	3	2	0	3	15
R4年度	2	2	7	4	4	3	1	1	24

多摩中部 オキシダント濃度が0.12ppm以上の測定局別・日別時間数

		6月		7月		8月	合計 時間	合計 日数
		28日	30日	1日	11日	15日		
多摩中部	立川市泉町			3			3	1
	府中市四谷			4	1	1	7	4
	調布市深大寺南町	1		4	2		9	4
	小金井市本町	-	-	-	-	-	-	-
	狛江市中和泉			4	1		7	3

(4) 河川等水質調査結果

①残堀川

※表中の「-」は、未実施を意味しています。
 ※表中の「欠測」は、測定日に水量不足のため調査できなかったことを表します。

河川名	残堀川	類型	A					
測定地点名	新残堀橋下流							
水域名	多摩川			令和4年度				
測定月日 (月/日)		04/13	06/01	08/03	10/05	12/07	01/19	
調査時刻 (時:分)		欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	
一般項目	採取位置	-	-	-	-	-	-	
	流量 (m ³ /S)	-	-	-	-	-	-	
	全水深 (m)	-	-	-	-	-	-	
	採取水深 (m)	-	-	-	-	-	-	
	天候	-	-	-	-	-	-	
	気温 (°C)	-	-	-	-	-	-	
	水温 (°C)	-	-	-	-	-	-	
	色相	-	-	-	-	-	-	
	臭気	-	-	-	-	-	-	
	透視(明)度 (cm)	-	-	-	-	-	-	
	pH	-	-	-	-	-	-	
	DO (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	BOD (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	COD (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	SS (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	大腸菌数 (CFU/100ml)	-	-	-	-	-	-	
	n-ヘキサン抽出物質 (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	全窒素 (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	全リン (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	亜鉛 (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
ノニルフェノール (mg/L)	-	-	-	-	-	-		
LAS (mg/L)	-	-	-	-	-	-		
健康項目	カドミウム (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	全シアン (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	鉛 (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	六価クロム (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	砒素 (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	総水銀 (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	アルキル水銀 (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	PCB (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	ジクロロメタン (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	四塩化炭素 (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	トリクロロエチレン (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	テトラクロロエチレン (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	チウラム (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	シマジン (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
チオベンカルブ (mg/L)	-	-	-	-	-	-		
ベンゼン (mg/L)	-	-	-	-	-	-		
セレン (mg/L)	-	-	-	-	-	-		
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)	-	-	-	-	-	-		
ふっ素 (mg/L)	-	-	-	-	-	-		
ほう素 (mg/L)	-	-	-	-	-	-		
1,4-ジオキサン (mg/L)	-	-	-	-	-	-		
その他の項目	塩化物イオン (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	MBAS (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	アンモニア性窒素 (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	磷酸性リン (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	電気伝導率 (10 ⁻¹ × mS/m)	-	-	-	-	-	-	
	硝酸性窒素 (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	亜硝酸性窒素 (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
大腸菌群数 (MPN/100ml)	-	-	-	-	-	-		

河川名	残堀川	類型	A					
測定地点名	馬場坂下橋下流							
水域名	多摩川							令和4年度
	測定月日 (月/日)	04/13	06/01	08/03	10/05	12/07	01/19	
	調査時刻 (時:分)	10:00	9:45	9:50	9:40	9:45	9:45	
一般項目	採取位置	流心	流心	流心	流心	流心	流心	
	流量 (m ³ /S)	0.017	0.212	0.116	0.139	0.010	0.047	
	全水深 (m)	0.06	0.13	0.12	0.14	0.04	0.30	
	採取水深 (m)	表層	表層	表層	表層	表層	表層	
	天候	晴	晴	晴	曇	晴	晴	
	気温 (°C)	24.0	23.5	31.5	23.0	10.5	6.2	
	水温 (°C)	18.8	19.5	28.5	19.0	12.0	8.2	
	色相	淡灰黄色	淡灰黄色	淡灰黄色	淡灰黄色	淡灰色	淡黄緑色	
	臭気	微川藻臭	無臭	微川藻臭	微川藻臭	微川藻臭	微川藻臭	
	透視 (明) 度 (cm)	>50	>50	>50	>50	>50	>50	
	生活環境項目	pH	7.1	8.1	8.0	7.7	7.4	7.1
		DO (mg/L)	9.5	10.4	9.3	8.7	11.2	10.0
		BOD (mg/L)	1.7	<0.5	0.8	<0.5	2.5	0.9
		COD (mg/L)	-	-	-	-	-	-
		SS (mg/L)	6	1	2	1	5	2
		大腸菌数 (CFU/100ml)	85	750	460	140	4400	30
		n-ヘキサン抽出物質 (mg/L)	-	-	-	-	-	-
		全窒素 (mg/L)	-	-	-	-	-	-
		全燐 (mg/L)	-	-	-	-	-	-
		亜鉛 (mg/L)	-	-	-	-	-	-
健康項目	ノニルフェノール (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	LAS (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	カドミウム (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	全シアン (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	鉛 (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	六価クロム (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	砒素 (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	総水銀 (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	アルキル水銀 (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	PCB (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	ジクロロメタン (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	四塩化炭素 (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	トリクロロエチレン (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	テトラクロロエチレン (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	チウラム (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	シマジン (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	チオベンカルブ (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	ベンゼン (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	セレン (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	ふっ素 (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	ほう素 (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	1,4-ジオキサン (mg/L)	-	-	-	-	-	-	
	その他の項目	塩化物イオン (mg/L)	-	-	-	-	-	-
MBAS (mg/L)		-	-	-	-	-	-	
アンモニウム性窒素 (mg/L)		-	-	-	-	-	-	
磷酸性燐 (mg/L)		-	-	-	-	-	-	
電気伝導率 (10 ⁻¹ × mS/m)		-	-	-	-	-	-	
硝酸性窒素 (mg/L)		-	-	-	-	-	-	
亜硝酸性窒素 (mg/L)		-	-	-	-	-	-	
大腸菌群数 (MPN/100ml)	2800	2800	8000	1300	11000	1700		

河川名	残堀川	類型	A									
測定地点名	多摩川合流点前											
水域名	多摩川			令和4年度								
		測定月日 (月/日)	04/13	06/01	06/02	08/03	10/05	11/10	12/07	01/19		
		調査時刻 (時:分)	10:40	10:45	9:30	11:15	10:30	9:30	10:45	11:20		
一般項目	現場測定	採取位置	流心	流心	流心	流心	流心	流心	流心	流心		
		流量 (m ³ /S)	0.076	0.302	0.190	0.175	0.252	0.16	0.037	0.061		
		全水深 (m)	0.14	0.25	0.23	0.20	0.24	0.18	0.19	0.16		
		採取水深 (m)	表層	表層	表層	表層	表層	表層	表層	表層		
		天候	晴	晴	晴	晴	曇	晴	晴	晴		
		気温 (°C)	26.5	24.5	21.5	31.5	23.0	16.2	10.5	9.4		
		水温 (°C)	20.0	21.5	19.6	28.5	19.5	16.8	12.0	10.2		
		色相	淡灰黄色	淡灰色	淡黄緑色	淡灰黄色	淡灰色	淡黄緑色	淡灰色	淡黄緑色		
		臭気	微川藻臭	微川藻臭	微川藻臭	微川藻臭	微川藻臭	微川藻臭	微川藻臭	微川藻臭		
		目	透視 (明) 度 (cm)	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	
環境項目	生活環境	pH	7.0	7.6	6.8	7.8	7.2	7.3	7.3	7.4		
		DO (mg/L)	12.6	10.1	9.1	11.5	9.0	10.5	13.5	12.9		
		BOD (mg/L)	1.9	<0.5	0.8	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	1.3		
		COD (mg/L)	-	-	2.6	-	-	1.7	-	-		
		SS (mg/L)	8	2	4	3	1	2	1	4		
		大腸菌数 (CFU/100ml)	150	500	160	230	160	110	1900	90		
		n-ヘキサン抽出物質 (mg/L)	-	-	-	-	-	-	-	-		
		全窒素 (mg/L)	-	-	2.61	-	-	3.05	-	-		
		全リン (mg/L)	-	-	0.021	-	-	0.032	-	-		
		亜鉛 (mg/L)	-	-	0.002	-	-	0.002	-	-		
健康項目	健康	カドミウム (mg/L)	-	-	<0.0003	-	-	<0.0003	-	-		
		全シアン (mg/L)	-	-	ND	-	-	ND	-	-		
		鉛 (mg/L)	-	-	<0.002	-	-	<0.002	-	-		
		六価クロム (mg/L)	-	-	<0.01	-	-	<0.01	-	-		
		砒素 (mg/L)	-	-	<0.005	-	-	<0.005	-	-		
		総水銀 (mg/L)	-	-	<0.0005	-	-	<0.0005	-	-		
		アルキル水銀 (mg/L)	-	-	ND	-	-	ND	-	-		
		PCB (mg/L)	-	-	ND	-	-	ND	-	-		
		ジクロロメタン (mg/L)	-	-	<0.0002	-	-	<0.0002	-	-		
		四塩化炭素 (mg/L)	-	-	<0.0002	-	-	<0.0002	-	-		
健康項目	健康	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	-	-	<0.0002	-	-	<0.0002	-	-		
		1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	-	-	<0.0002	-	-	<0.0002	-	-		
		シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	-	-	<0.0002	-	-	<0.0002	-	-		
		1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	-	-	<0.0002	-	-	<0.0002	-	-		
		1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	-	-	<0.0002	-	-	<0.0002	-	-		
		トリクロロエチレン (mg/L)	-	-	<0.001	-	-	<0.001	-	-		
		テトラクロロエチレン (mg/L)	-	-	<0.0002	-	-	<0.0002	-	-		
		1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	-	-	<0.0002	-	-	<0.0002	-	-		
		チウラム (mg/L)	-	-	<0.0006	-	-	<0.0006	-	-		
		シマジン (mg/L)	-	-	<0.0003	-	-	<0.0003	-	-		
健康項目	健康	チオベンカルブ (mg/L)	-	-	<0.0003	-	-	<0.0003	-	-		
		ベンゼン (mg/L)	-	-	<0.0002	-	-	<0.0002	-	-		
		セレン (mg/L)	-	-	<0.002	-	-	<0.002	-	-		
		硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)	-	-	1.9	-	-	2.5	-	-		
		ふっ素 (mg/L)	-	-	0.02	-	-	0.03	-	-		
		ほう素 (mg/L)	-	-	0.01	-	-	0.02	-	-		
		1,4-ジオキサン (mg/L)	-	-	<0.005	-	-	<0.005	-	-		
		その他の項目	その他の項目	塩化物イオン (mg/L)	-	-	-	-	-	-	-	-
				MBAS (mg/L)	-	-	<0.02	-	-	<0.02	-	-
				アンモニア性窒素 (mg/L)	-	-	0.02	-	-	0.02	-	-
燐酸性燐 (mg/L)	-			-	0.016	-	-	0.021	-	-		
電気伝導率 (10 ⁻¹ × mS/m)	-			-	-	-	-	-	-	-		
硝酸性窒素 (mg/L)	-			-	1.97	-	-	2.52	-	-		
亜硝酸性窒素 (mg/L)	-			-	0.002	-	-	0.002	-	-		
大腸菌群数 (MPN/100ml)	4900	8000	4900	1100	1100	3300	8000	2400				

②多摩川

令和4年度

		河川名	多摩川	類型:B	府中用水	類型:無し
		測定地点名	日野橋下流		多摩川取水後	
		水域名	多摩川		多摩川	
	測定月日 (月/日)	06/02	11/10	06/02	11/10	
	調査時刻 (時:分)	11:30	11:30	11:00	11:00	
一般項目	採取位置	流心	流心	流心	流心	
	流量 (m ³ /S)	9.21	10.6	-	0.79	
	全水深 (m)	0.63	0.43	-	0.85	
	採取水深 (m)	表層	表層	表層	表層	
	天候	晴	晴	晴	晴	
	気温 (°C)	29.5	20.5	27.4	18.2	
	水温 (°C)	25.4	18.4	23.5	17.9	
	色相	淡黄緑色	淡黄緑色	淡黄緑色	淡黄緑色	
	臭気	微川藻臭	淡川藻臭	微川藻臭	淡川藻臭	
	透視 (明) 度 (cm)	>50	>50	>50	>50	
生活環境項目	pH	7.4	7.5	7.0	7.2	
	DO (mg/L)	10.1	10.4	8.6	8.8	
	BOD (mg/L)	1.4	<0.5	1.4	1.2	
	COD (mg/L)	3.7	2.3	4.3	3.7	
	SS (mg/L)	5	2	2	3	
	大腸菌数 (CFU/100ml)	520	480	220	4900	
	n-ヘキサン抽出物質 (mg/L)	-	-	-	-	
	全窒素 (mg/L)	3.03	4.42	5.62	5.70	
	全リン (mg/L)	0.160	0.196	0.332	0.261	
	亜鉛 (mg/L)	0.008	0.009	0.015	0.015	
健康項目	ノニルフェノール (mg/L)	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	
	LAS (mg/L)	<0.0006	<0.0006	0.0013	0.0011	
	カドミウム (mg/L)	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	
	全シアン (mg/L)	ND	ND	ND	ND	
	鉛 (mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
	六価クロム (mg/L)	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
	砒素 (mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
	総水銀 (mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	アルキル水銀 (mg/L)	ND	ND	ND	ND	
	PCB (mg/L)	ND	ND	ND	ND	
健康項目	ジクロロメタン (mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	
	四塩化炭素 (mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	
	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	
	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	
	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	
	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	
	トリクロロエチレン (mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
	テトラクロロエチレン (mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	
	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	
健康項目	チウラム (mg/L)	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	
	シマジン (mg/L)	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	
	チオベンカルブ (mg/L)	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	
	ベンゼン (mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	
	セレン (mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)	2.5	3.9	4.3	4.6	
	ふっ素 (mg/L)	0.03	0.02	0.03	0.03	
	ほう素 (mg/L)	0.01	0.02	0.02	0.03	
	1,4-ジオキサン (mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
	塩化物イオン (mg/L)	-	-	-	-	
その他の項目	MBAS (mg/L)	<0.02	0.02	<0.02	<0.02	
	アンモニア性窒素 (mg/L)	0.02	0.02	0.12	0.06	
	磷酸性リン (mg/L)	0.115	0.138	0.270	0.176	
	電気伝導率 (10 ⁻³ × mS/m)	-	-	-	-	
	硝酸性窒素 (mg/L)	2.56	3.83	4.27	4.57	
	亜硝酸性窒素 (mg/L)	0.03	0.07	0.028	0.048	
	大腸菌群数 (MPN/100ml)	24000	17000	7000	7000	

③矢川

令和4年度

		河川名	矢川	類型:無し	矢川	類型:無し
		測定地点名	上流部		下流部	
		水域名	多摩川		多摩川	
一般項目	測定月日 (月/日)	07/06	01/11	07/06	01/11	
	調査時刻 (時:分)	9:05	9:20	9:15	9:45	
	採取位置	流心	流心	流心	流心	
	流量 (m ³ /S)	0.043	0.019	0.106	0.022	
	全水深 (m)	0.12	0.06	0.16	0.07	
	採取水深 (m)	表層	表層	表層	表層	
	天候	曇	晴	曇	晴	
	気温 (°C)	25.0	5.0	24.0	5.0	
	水温 (°C)	19.0	16.0	21.0	13.2	
	色相	無色	無色	無色	淡黄緑色	
	臭気	無臭	無臭	無臭	微川藻臭	
	透視 (明) 度 (cm)	>50	>50	>50	>50	
	pH	6.8	7.1	6.8	7.2	
	DO (mg/L)	8.6	10.0	8.2	9.3	
	BOD (mg/L)	<0.5	0.5	0.5	0.7	
	COD (mg/L)	—	—	—	—	
	SS (mg/L)	<1	<1	<1	1	
	大腸菌数 (CFU/100ml)	4	2	6	4	
	n-ヘキサン抽出物質 (mg/L)	—	—	<0.5	<0.5	
	全窒素 (mg/L)	—	—	3.06	2.89	
全リン (mg/L)	—	—	0.025	0.022		
亜鉛 (mg/L)	—	—	—	—		
ノニルフェノール (mg/L)	—	—	—	—		
LAS (mg/L)	—	—	—	—		
健康項目	カドミウム (mg/L)	—	—	—	—	
	全シアン (mg/L)	—	—	—	—	
	鉛 (mg/L)	—	—	—	—	
	六価クロム (mg/L)	—	—	—	—	
	砒素 (mg/L)	—	—	—	—	
	総水銀 (mg/L)	—	—	—	—	
	アルキル水銀 (mg/L)	—	—	—	—	
	PCB (mg/L)	—	—	—	—	
	ジクロロメタン (mg/L)	—	—	<0.002	<0.002	
	四塩化炭素 (mg/L)	—	—	<0.0002	<0.0002	
	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	—	—	<0.0004	<0.0004	
	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	—	—	<0.002	<0.002	
	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	—	—	<0.004	<0.004	
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	—	—	<0.001	<0.001	
	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	—	—	<0.0006	<0.0006	
	トリクロロエチレン (mg/L)	—	—	<0.001	<0.001	
	テトラクロロエチレン (mg/L)	—	—	<0.001	<0.001	
	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	—	—	<0.0002	<0.0002	
	チウラム (mg/L)	—	—	<0.0006	<0.0006	
	シマジン (mg/L)	—	—	<0.0003	<0.0003	
チオベンカルブ (mg/L)	—	—	<0.0003	<0.0003		
ベンゼン (mg/L)	—	—	<0.001	<0.001		
セレン (mg/L)	—	—	—	—		
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)	2.2	2.1	2.8	2.4		
ふっ素 (mg/L)	—	—	—	—		
ほう素 (mg/L)	—	—	—	—		
1,4-ジオキサン (mg/L)	—	—	—	—		
その他の項目	塩化物イオン (mg/L)	—	—	—	—	
	MBAS (mg/L)	—	—	<0.02	<0.02	
	アンモニア性窒素 (mg/L)	—	—	0.01	0.01	
	磷酸性リン (mg/L)	—	—	0.015	0.009	
	電気伝導率 (10 ⁻¹ × mS/m)	—	—	—	—	
	硝酸性窒素 (mg/L)	2.25	2.16	2.79	2.47	
	亜硝酸性窒素 (mg/L)	<0.01	0.01	0.01	0.010	
大腸菌群数 (MPN/100ml)	230	110	490	240		

④昭和用水等用水

令和4年度

		河川名	柴崎分水	類型:無し	昭和用水	類型:無し	昭和用水	類型:無し	立川堀 (昭和用水)	類型:無し
		測定地点名	根川合流点前		立川・昭島市境		残堀川合流点前		立川・昭島市境	
		水域名	多摩川		多摩川		多摩川		多摩川	
一般項目	測定月日 (月/日)	07/06	01/11	07/06	01/11	07/06	01/11	07/06	01/11	
	調査時刻 (時:分)	9:40	10:20	11:00	11:15	10:25	10:40	11:10	11:10	
	採取位置	流心	流心	流心	流心	流心	流心	流心	流心	
	流量 (m ³ /S)	-	-	-	-	-	-	-	-	
	全水深 (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	
	採取水深 (m)	表層	表層	表層	表層	表層	表層	表層	表層	
	天候	曇	晴	晴	晴	曇	晴	晴	晴	
	気温 (°C)	24.8	7.0	27.5	8.0	25.0	7.0	27.5	8.0	
	水温 (°C)	22.5	6.2	24.2	5.5	24.8	1.0	24.2	5.8	
	色相	淡茶褐色	淡黄緑色	淡褐色	淡灰黄色	淡褐色	淡黄緑色	淡黄緑色	淡黄緑色	
	臭気	微土臭	微川藻臭	微川藻臭	微川藻臭	微川藻臭	微川藻臭	微川藻臭	微川藻臭	
	透視 (明) 度 (cm)	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	
	生活環境	pH	7.3	7.6	8.1	7.6	7.8	7.7	7.8	7.7
		DO (mg/L)	7.5	12.7	7.0	12.9	8.4	12.8	8.6	12.3
		BOD (mg/L)	0.6	0.6	0.9	1.2	0.8	1.2	0.7	0.8
		COD (mg/L)	-	-	-	-	-	-	-	-
		SS (mg/L)	8	1	8	8	5	1	5	<1
		大腸菌群数 (MPN/100ml)	-	-	-	-	-	-	-	-
		n-ヘキサン抽出物質 (mg/L)	-	-	-	-	-	-	-	-
	全窒素 (mg/L)	-	-	-	-	-	-	-	-	
	全リン (mg/L)	-	-	-	-	-	-	-	-	

		河川名	立川堀分水 (昭和用水)	類型:無し	立川堀分水 支流No.1 (昭和用水)	類型:無し	砂川用水	類型:無し	砂川用水	類型:無し
		測定地点名	立川・昭島市境		残堀川合流点前		玉川上水取水口後		立川・国分寺市境	
		水域名	多摩川		多摩川		多摩川		多摩川	
一般項目	測定月日 (月/日)	07/06	01/11	07/06	01/11	07/06	01/11	07/06	01/11	
	調査時刻 (時:分)	10:45	欠測	10:35	10:50	11:40	11:50	12:15	欠測	
	採取位置	流心	-	流心	流心	流心	流心	流心	-	
	流量 (m ³ /S)	-	-	-	-	-	-	-	-	
	全水深 (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	
	採取水深 (m)	表層	-	表層	表層	表層	表層	表層	-	
	天候	晴	-	晴	晴	晴	晴	曇	-	
	気温 (°C)	26.7	-	26.5	5.0	27.2	8.0	28.0	-	
	水温 (°C)	27.0	-	23.0	4.8	23.0	5.0	23.8	-	
	色相	淡褐色	-	淡黄緑色	淡灰黄色	淡黄緑色	淡黄緑色	淡黄緑色	-	
	臭気	微川藻臭	-	微川藻臭	微川藻臭	無臭	微川藻臭	微川藻臭	-	
	透視 (明) 度 (cm)	>50	-	>50	>50	>50	>50	>50	-	
	生活環境	pH	9.2	-	7.8	7.7	8.1	7.8	8.0	-
		DO (mg/L)	12.5	-	8.9	12.4	8.7	12.8	8.9	-
		BOD (mg/L)	1.1	-	0.6	1.3	0.5	0.8	0.5	-
		COD (mg/L)	-	-	-	-	-	-	-	-
		SS (mg/L)	8	-	8	<1	7	1	2	-
		大腸菌群数 (MPN/100ml)	-	-	-	-	-	-	-	-
		n-ヘキサン抽出物質 (mg/L)	-	-	-	-	-	-	-	-
	全窒素 (mg/L)	-	-	-	-	-	-	-	-	
	全リン (mg/L)	-	-	-	-	-	-	-	-	

(5) 河川底質調査結果

令和4年度

測定項目	残堀川	
	単位	多摩川合流点前
		7月6日 9:55
		測定値
総水銀	mg/kg	0.04
カドミウム	mg/kg	< 0.1
鉛	mg/kg	15
有機リン	mg/kg	< 0.1
六価クロム	mg/kg	< 0.5
ヒ素	mg/kg	1.2
シアン	mg/kg	< 0.1
PCB	mg/kg	< 0.02
銅	mg/kg	16
亜鉛	mg/kg	130
含水率	wt%	15.2
水素イオン濃度	pH	7.0

(6) 湧水調査結果

令和4年度

段丘	場所		流出先	利用状況	日時		天候	水温(℃)	湧水量(㎥/日)	大腸菌数(CFU/100ml)	電気伝導率(μS/cm)
					7/13	11/19					
立川	富士見緑地	富士見町3-10	残堀川	なし	7/13	11:26	曇	19.0	26	0	184
					1/19	10:35	晴	10.2	1	0	139
	財団法人東京都農林水産振興財団	富士見町3-16	場内公園	噴水など	7/13	11:09	曇	18.6	11	8	197
					1/19	欠測	-	-	-	-	-
	富士見高架下弁天湧水	富士見町3-18	残堀川	なし	7/13	11:56	曇	18.5	158	10	193
					1/19	欠測	-	-	-	-	-
	JR中央線残堀鉄橋	富士見町5-27	残堀川	なし	7/13	12:05	曇	20.0	490	10	188
					1/19	9:35	晴	11.0	185	6	148
青柳	立川公園	錦町5-11	柴崎用水	農業用水	7/13	10:39	曇	18.6	64	4	199
					1/19	欠測	-	-	-	-	-
立川	矢川緑地内池北側	羽衣町3-26	矢川	なし	7/13	9:18	曇	19.5	69	4	200
					1/19	12:15	晴	15.4	30	4	181
	矢川緑地北側	羽衣町3-26	矢川	なし	7/13	9:30	曇	19.0	1,404	2	198
					1/19	欠測	-	-	-	-	-
	一般宅地内	羽衣町3丁目	矢川	雑用水	7/13	9:55	曇	18.6	1,064	4	199
					1/19	欠測	-	-	-	-	-
	矢川弁財天横	羽衣町3-29	矢川	なし	7/13	10:16	曇	19.2	5,622	0	210
					1/19	欠測	-	-	-	-	-
	矢川緑地入口	羽衣町3-26	矢川	なし	7/13	9:03	曇	19.0	4,220	6	202
					1/19	12:00	晴	17.0	798	2	193
矢川緑地出口	羽衣町3-26	多摩川	なし	7/13	9:42	曇	19.5	13,009	8	195	
				1/19	14:40	晴	15.5	1,160	6	181	

(7)地下水調査結果

調査年月日 令和4年11月15日～16日

項目	環境基準	調査地点（井戸種別）						
		南部1 (深井戸)	南部2 (深井戸)	南部3 (深井戸)	南部4 (深井戸)	南部5 (深井戸)	南部6 (深井戸)	南部7 (浅井戸)
ジクロロメタン	0.002mg/L	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
四塩化炭素	0.002mg/L	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/L	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
1,1,1-トリクロロエタン	1mg/L	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/L	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
トリクロロエチレン	0.01mg/L	< 0.001	0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001
テトラクロロエチレン	0.01mg/L	< 0.0002	0.0009	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	0.0014
1,3-ジクロロプロパン	0.002mg/L	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
ベンゼン	0.01mg/L	< 0.0002	< 0.000	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
1,4-ジオキサン	0.05mg/L	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005

項目	環境基準	調査地点（井戸種別）						
		中部1 (深井戸)	中部2 (深井戸)	中部3 (深井戸)	北部1 (浅井戸)	北部2 (深井戸)	北部3 (深井戸)	北部4 (浅井戸)
ジクロロメタン	0.002mg/L	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
四塩化炭素	0.002mg/L	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/L	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
1,1,1-トリクロロエタン	1mg/L	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/L	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
トリクロロエチレン	0.01mg/L	< 0.001	0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001
テトラクロロエチレン	0.01mg/L	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
1,3-ジクロロプロパン	0.002mg/L	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
ベンゼン	0.01mg/L	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
1,4-ジオキサン	0.05mg/L	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005

項目	環境基準	調査地点（井戸種別）				
		北部5 (深井戸)	北部6 (浅井戸)	北部7 (深井戸)	北部8 (深井戸)	北部9 (深井戸)
ジクロロメタン	0.002mg/L	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
四塩化炭素	0.002mg/L	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/L	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
1,1,1-トリクロロエタン	1mg/L	< 0.0002	0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/L	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
トリクロロエチレン	0.01mg/L	0.001	< 0.001	0.007	0.001	< 0.001
テトラクロロエチレン	0.01mg/L	0.0004	0.0011	0.0043	0.0007	< 0.0002
1,3-ジクロロプロパン	0.002mg/L	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
ベンゼン	0.01mg/L	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
1,4-ジオキサン	0.05mg/L	0.006	< 0.005	0.012	0.022	< 0.005

■ : 基準超過

南部地区 : J R 中央線・青梅線の南側地区

中部地区 : 五日市街道と J R 中央線・青梅線に挟まれる地区

北部地区 : 五日市街道の北側地区

(8)立川飛行場に係る航空機騒音測定結果

①定点測定結果

第四小学校 航空機騒音測定結果

令和4年度

月	Lden (dB)		WECPNL	時間別飛行回数				移動方向識別回数				有効測定日数 (日)
	平均値	最大値		0~7	7~19	19~22	22~24	離陸	着陸	上空	地上	
4	48.4	54.1	59.4	2	386	9	1	219	171	8	0	30
				0.1	12.9	0.3	0.0	7.3	5.7	0.3	0.0	
5	47.7	55.3	59.1	4	312	15	3	185	121	28	0	31
				0.1	10.1	0.5	0.1	6.0	3.9	0.9	0.0	
6	48.0	51.0	59.4	1	414	12	1	219	202	7	0	30
				0.0	13.8	0.4	0.0	7.3	6.7	0.2	0.0	
7	47.3	53.9	58.7	0	409	11	0	224	180	14	2	31
				0.0	13.2	0.4	0.0	7.2	5.8	0.5	0.1	
8	44.9	51.2	56.1	0	208	12	1	98	113	10	0	31
				0.0	6.7	0.4	0.0	3.2	3.6	0.3	0.0	
9	47.7	53.7	58.7	0	327	12	1	96	238	5	1	30
				0.0	10.9	0.4	0.0	3.2	7.9	0.2	0.0	
10	49.8	57.2	60.6	1	418	12	5	80	331	25	0	31
				0.0	13.5	0.4	0.2	2.6	10.7	0.8	0.0	
11	48.8	54.7	59.8	0	365	1	0	71	282	13	0	30
				0.0	12.2	0.0	0.0	2.4	9.4	0.4	0.0	
12	48.1	55.4	59.2	4	226	7	3	58	165	17	0	31
				0.1	7.3	0.2	0.1	1.9	5.3	0.5	0.0	
1	48.0	53.5	59.1	3	299	2	0	68	210	23	3	31
				0.1	9.6	0.1	0.0	2.2	6.8	0.7	0.1	
2	50.3	55.9	61.5	1	430	15	0	97	301	46	2	28
				0.0	15.0	0.5	0.0	3.5	10.8	1.6	0.1	
3	50.7	57.7	61.7	0	545	11	3	231	286	30	12	31
				0.0	17.6	0.4	0.1	7.5	9.2	1.0	0.4	
合計		57.7		16	4339	119	18	1646	2600	226	20	365
平均	48.3	(最大)	59.4	0.0	11.9	0.3	0.0	4.5	7.2	0.6	0.1	

*時間別及び移動方向識別回数の下段は1日当たりの平均回数

*移動方向識別回数は、測定器が自動的に識別したものであり、実際の運航形態によるものとは異なります。

砂川学習館 航空機騒音測定結果

令和4年度

月	Lden (dB)		WECPNL	時間別飛行回数				移動方向識別回数				有効測定日数 (日)
	平均値	最大値		0~7	7~19	19~22	22~24	離陸	着陸	上空	地上	
4	52.3	59.2	64.3	0	634	18	3	151	263	27	214	30
				0.0	21.1	0.6	0.1	5.0	8.8	0.9	7.1	
5	52.2	59.5	64.0	10	519	27	0	109	221	55	171	31
				0.3	16.7	0.9	0.0	3.5	7.1	1.8	5.5	
6	53.3	60.3	65.3	2	646	36	0	166	326	27	165	30
				0.1	21.5	1.2	0.0	5.5	10.9	0.9	5.5	
7	52.0	56.8	63.8	0	650	19	0	180	310	26	153	31
				0.0	21.0	0.6	0.0	5.8	10.0	0.8	4.9	
8	48.6	54.1	60.6	0	315	9	0	102	149	19	54	31
				0.0	10.2	0.3	0.0	3.3	4.8	0.6	1.7	
9	50.1	58.2	62.7	3	449	21	1	255	101	19	99	30
				0.1	15.0	0.7	0.0	8.5	3.4	0.6	3.3	
10	49.0	55.4	61.3	0	437	11	2	303	65	20	62	31
				0.0	14.1	0.4	0.1	9.8	2.1	0.6	2.0	
11	49.3	55.0	61.4	1	361	10	0	231	69	22	50	30
				0.0	12.0	0.3	0.0	7.7	2.3	0.7	1.7	
12	49.9	55.5	62.1	3	352	3	0	140	92	20	106	31
				0.1	11.4	0.1	0.0	4.5	3.0	0.6	3.4	
1	48.6	55.2	60.8	2	368	4	0	168	87	34	85	31
				0.1	11.9	0.1	0.0	5.4	2.8	1.1	2.7	
2	51.4	58.6	63.5	1	498	16	0	249	108	43	115	28
				0.0	17.8	0.6	0.0	8.9	3.9	1.5	4.1	
3	53.0	57.1	65.5	0	771	13	1	248	260	45	232	31
				0.0	24.9	0.4	0.0	8.0	8.4	1.5	7.5	
合計		60.3		22	6000	187	7	2302	2051	357	1506	365
平均	50.8	(最大)	62.9	0.1	16.5	0.5	0.0	6.3	5.6	1.0	4.1	

*時間別及び移動方向識別回数の下段は1日当たりの平均回数

*移動方向識別回数は、測定器が自動的に識別したものであり、実際の運航形態によるものとは異なります。

(9)横田基地に係る航空機騒音測定結果

中里測定局 航空機騒音測定結果

令和4年度

月	Lden (dB)		WECPNL	時間別飛行回数				移動方向識別回数				有効測定日数 (日)
	平均値	最大値		0～7	7～19	19～22	22～24	離陸	着陸	上空	地上	
4	62.7	70.5	79.2	15	947	418	10	577	591	27	195	30
				0.5	31.6	13.9	0.3	19.2	19.7	0.9	6.5	
5	70.4	82.7	85.6	33	1270	280	9	793	487	48	264	31
				1.1	41.0	9.0	0.3	25.6	15.7	1.5	8.5	
6	61.5	67.3	76.6	24	761	253	4	631	274	16	121	30
				0.8	25.4	8.4	0.1	21.0	9.1	0.5	4.0	
7	62.9	71.9	80.1	17	1038	213	8	740	416	21	99	31
				0.5	33.5	6.9	0.3	23.9	13.4	0.7	3.2	
8	60.8	66.2	76.3	15	1140	259	0	833	498	14	69	31
				0.5	36.8	8.4	0.0	26.9	16.1	0.5	2.2	
9	61.2	68.2	76.6	26	860	268	3	239	751	11	156	30
				0.9	28.7	8.9	0.1	8.0	25.0	0.4	5.2	
10	60.8	67.2	77.3	26	982	299	14	223	797	36	265	31
				0.8	31.7	9.6	0.5	7.2	25.7	1.2	8.5	
11	65.9	79.1	83.8	41	1033	227	10	151	835	11	314	30
				1.4	34.4	7.6	0.3	5.0	27.8	0.4	10.5	
12	59.6	66.7	74.8	9	777	200	7	193	528	31	241	31
				0.3	25.1	6.5	0.2	6.2	17.0	1.0	7.8	
1	60.7	68.5	76.4	20	1056	333	23	253	833	36	310	31
				0.6	34.1	10.7	0.7	8.2	26.9	1.2	10.0	
2	61.1	67.4	78.8	30	869	311	7	274	650	25	268	28
				1.1	31.0	11.1	0.3	9.8	23.2	0.9	9.6	
3	70.4	79.1	88.0	24	1046	250	14	631	471	23	209	31
				0.8	33.7	8.1	0.5	20.4	15.2	0.7	6.7	
合計		82.7		280	11779	3311	109	5538	7131	299	2511	365
平均	63.2	(最大)	79.5	0.8	32.3	9.1	0.3	15.1	19.6	0.8	6.9	

*時間別及び移動方向識別回数の下段は1日当たりの平均回数

*移動方向識別回数は、測定器が自動的に識別したものであり、実際の運航形態によるものとは異なります。

※LdenとWECPNLの平均は算術平均を使用しています。表の値はパワー平均ではありません。

(10) 道路沿道環境調査結果

令和4年度

定点	1 道路：都道43号(芋窪街道)					調査日	11月15日12時～11月16日12時				道路騒音地域類型	c			
測定点	こぶし会館前			番地	幸町5-83-1		用途地域 近隣商業			道路振動区域の区分	2				
時間	騒音 (dB)					振動 (dB)			大気		交通量 (台)				
	時間別 等価騒音 レベル	区分	時間帯別 等価騒音 レベル	要請 限度値	環境 基準値	80%レンジ 上端値 L10	区分	時間帯 平均値	要請 限度値	二酸化 窒素 ppm	浮遊粒 子状物 質 mg/m ³	小型	大型	二輪	合計
0	60					34				0.015	0.012	192	42	18	252
1	58					32				0.009	0.008	84	36	0	120
2	59	夜	62	70	65	31	夜	36	65	0.008	0.014	90	36	0	126
3	60					0.007				0.021	60	24	0	84	
4	60					0.011				0.008	60	42	0	102	
5	63					0.017				0.012	240	66	12	318	
6	66					0.021				0.024	402	132	18	552	
7	68	昼	67	75	70	41	昼	40	70	0.015	0.015	1,104	156	60	1,320
8	67					0.012				0.010	1,488	186	72	1,746	
9	67					0.009				0.013	1,056	222	36	1,314	
10	66					0.009				0.022	1,014	186	30	1,230	
11	65					0.009				0.015	1,374	198	42	1,614	
12	67					0.011				0.021	1,134	132	6	1,272	
13	67					0.009				0.018	1,062	126	24	1,212	
14	68					0.010				0.012	1,212	180	12	1,404	
15	66					0.010				0.023	1,302	144	54	1,500	
16	66					0.011				0.009	1,212	114	36	1,362	
17	67					0.018				0.016	1,080	168	54	1,302	
18	67					0.024				0.012	1,494	66	36	1,596	
19	65					0.026				0.020	1,326	42	48	1,416	
20	66	夜	62	70	65	37	夜	36	65	0.026	0.012	1,032	60	54	1,146
21	65					0.024				0.018	636	84	42	762	
22	64					0.023				0.020	312	72	6	390	
23	64					0.019				0.024	252	54	18	324	
平均/計	65					38				0.015	0.016	19,218	2,568	678	22,464

令和4年度

定点	2 道路：都道43号(芋窪街道)					調査日	10月25日10時～10月26日10時				道路騒音地域類型	a			
測定点	泉市民体育館前			番地	泉町786-11		用途地域 第1種中高層住居専用			道路振動区域の区分	1				
時間	騒音 (dB)					振動 (dB)			大気		交通量 (台)				
	時間別 等価騒音 レベル	区分	時間帯別 等価騒音 レベル	要請 限度値	環境 基準値	80%レンジ 上端値 L10	区分	時間帯 平均値	要請 限度値	二酸化 窒素 ppm	浮遊粒 子状物 質 mg/m ³	小型	大型	二輪	合計
0	56					33				0.008	0.012	162	24	18	204
1	56	夜	56	70	65	30	夜	36	60	0.010	0.007	102	24	0	126
2	54					0.014				0.015	84	36	0	120	
3	55					0.009				0.017	84	54	12	150	
4	53					0.008				0.006	96	24	6	126	
5	57					0.013				0.013	108	78	24	210	
6	64	昼	62	75	70	41	昼	42	65	0.015	0.014	378	144	30	552
7	62					0.012				0.007	828	168	48	1,044	
8	62					0.012				0.014	1,188	264	72	1,524	
9	63					0.009				0.006	1,152	258	36	1,446	
10	64					0.015				0.021	1,296	150	18	1,464	
11	64					0.014				0.009	1,692	174	48	1,914	
12	61					0.014				0.007	1,518	168	36	1,722	
13	63					0.014				0.013	1,536	90	36	1,662	
14	63					0.015				0.015	1,398	222	42	1,662	
15	63					0.020				0.014	1,620	156	18	1,794	
16	62					0.021				0.012	1,512	138	18	1,668	
17	61					0.025				0.027	1,374	90	42	1,506	
18	61					0.022				0.028	1,452	108	78	1,638	
19	60	夜	56	70	65	38	夜	36	60	0.018	0.024	1,284	36	36	1,356
20	61					0.013				0.015	1,014	48	78	1,140	
21	61					0.012				0.014	672	84	48	804	
22	57					0.009				0.007	348	42	24	414	
23	56	0.004	0.012	228	54	18	300								
平均/計	60					39				0.014	0.014	21,126	2,634	786	24,546

令和4年度

定点	3 道路：都道7号(五日市街道)				調査日 11月17日13時～11月18日13時				道路騒音地域類型 a							
測定点	西砂学習館前				番地 西砂町6-12-10				用途地域 第2種中高層住居専用				道路振動区域の区分 1			
時間	騒音 (dB)				振動 (dB)				大気		交通量 (台)					
	時間別 等価騒音 レベル	区分	時間帯別 等価騒音 レベル	要請 限度値	環境 基準値	80%レゾナンス 上端値 L10	区分	時間帯 平均値	要請 限度値	二酸化 窒素 ppm	浮遊粒 子状物 質 mg/m ³	小型	大型	二輪	合計	
0	64	夜	66	70	65	37	夜	38	60	0.019	0.026	126	48	18	192	
1	65					33				0.024	0.020	66	30	12	108	
2	63					30				0.021	0.025	42	18	18	78	
3	63					35				0.016	0.020	48	42	0	90	
4	66					43				0.015	0.015	72	90	24	186	
5	69					45				0.018	0.010	174	150	6	330	
6	69	昼	68	75	70	44	昼	40	65	0.020	0.019	360	114	42	516	
7	69					43				0.025	0.031	690	132	30	852	
8	68					42				0.025	0.020	696	180	30	906	
9	68					43				0.017	0.011	618	180	30	828	
10	67					41				0.012	0.024	666	96	0	762	
11	65					39				0.015	0.019	534	96	36	666	
12	69					42				0.014	0.015	666	150	18	834	
13	67					39				0.011	0.020	750	114	12	876	
14	67					39				0.011	0.004	726	108	24	858	
15	68					42				0.012	0.008	654	138	12	804	
16	68					40				0.022	0.025	768	126	0	894	
17	66					38				0.033	0.010	786	78	30	894	
18	66	38	0.024	0.010	816	48	18	882								
19	69	夜	66	70	65	37	夜	38	60	0.020	0.014	624	30	30	684	
20	67					39				0.024	0.021	558	54	30	642	
21	68					37				0.023	0.012	384	24	24	432	
22	67					38				0.019	0.009	288	42	6	336	
23	66					38				0.021	0.018	174	48	0	222	
平均/計	67					39				0.019	0.017	11,286	2,136	450	13,872	

令和4年度

定点	4 道路：都道29号(旧奥多摩街道)				調査日 10月27日10時～10月28日10時				道路騒音地域類型 a							
測定点	シルバー人材センター前				番地 柴崎町1-17-7				用途地域 第1種中高層住居専用				道路振動区域の区分 1			
時間	騒音 (dB)				振動 (dB)				大気		交通量 (台)					
	時間別 等価騒音 レベル	区分	時間帯別 等価騒音 レベル	要請 限度値	環境 基準値	80%レゾナンス 上端値 L10	区分	時間帯 平均値	要請 限度値	二酸化 窒素 ppm	浮遊粒 子状物 質 mg/m ³	小型	大型	二輪	合計	
0	54	夜	54	70	65	22	夜	26	60	0.014	0.013	132	0	6	138	
1	50					19				0.012	0.011	18	0	6	24	
2	52					18				0.009	0.011	18	0	6	24	
3	49					17				0.007	0.010	12	0	0	12	
4	52					20				0.009	0.015	18	0	0	18	
5	55					27				0.010	0.023	48	0	6	54	
6	60	昼	61	75	70	29	昼	35	65	0.012	0.015	114	0	6	120	
7	62					36				0.015	0.023	432	24	18	474	
8	61					36				0.012	0.017	498	18	6	522	
9	61					34				0.011	0.029	330	18	6	354	
10	61					35				0.008	0.030	354	18	24	396	
11	64					36				0.007	0.022	324	42	18	384	
12	60					35				0.007	0.015	306	24	12	342	
13	57					31				0.008	0.020	216	0	12	228	
14	60					34				0.010	0.013	282	6	12	300	
15	59					35				0.013	0.009	300	6	18	324	
16	61					36				0.021	0.015	336	24	12	372	
17	60					34				0.031	0.011	438	12	30	480	
18	61	34	0.026	0.010	390	0	36	426								
19	61	34	0.016	0.018	288	0	18	306								
20	58	夜	54	70	65	32	夜	26	60	0.017	0.014	162	6	6	174	
21	57					31				0.018	0.016	150	0	12	162	
22	57					29				0.017	0.014	114	0	6	120	
23	54					24				0.016	0.012	72	0	0	72	
平均/計	58					30				0.014	0.016	5,352	198	276	5,826	

令和4年度

定点	5 道路：都道16号(立川通り)				調査日	10月18日10時～10月19日10時				道路騒音地域類型				b		
測定点	立川市清掃工場前				番地	若葉町4-11-19				用途地域 第1種住居				道路振動区域の区分		1
時間	騒音 (dB)				振動 (dB)				大気		交通量 (台)					
	時間別 等価騒音 レベル	区分	時間帯別 等価騒音 レベル	要請 限度値	環境 基準値	80%レンジ 上端値 L10	区分	時間帯 平均値	要請 限度値	二酸化 窒素 ppm	浮遊粒 子状物 質 mg/m ³	小 型	大 型	二 輪	合 計	
0	66	夜	67	70	65	45	夜	47	60	0.006	0.018	144	36	12	192	
1	66					44				0.005	0.011	132	42	12	186	
2	67					45				0.007	0.013	126	60	0	186	
3	66					44				0.009	0.012	108	42	6	156	
4	67					49				0.009	0.011	90	90	18	198	
5	68					46				0.010	0.010	210	48	18	276	
6	70	昼	69	75	70	52	昼	51	65	0.014	0.014	366	114	18	498	
7	69					54				0.013	0.013	648	174	18	840	
8	68					49				0.013	0.013	762	102	30	894	
9	69					52				0.007	0.005	564	126	42	732	
10	69					52				0.013	0.023	702	168	6	876	
11	69					53				0.012	0.026	774	168	12	954	
12	69					52				0.013	0.017	672	132	30	834	
13	68					50				0.010	0.007	696	54	18	768	
14	67					50				0.010	0.016	750	96	36	882	
15	67					49				0.009	0.017	822	84	30	936	
16	67					50				0.009	0.014	798	90	36	924	
17	67					49				0.010	0.008	810	60	18	888	
18	69	50	0.009	0.011	810	60	42	912								
19	70	46	0.012	0.019	810	48	30	888								
20	69	45	0.011	0.017	492	54	42	588								
21	68	44	0.008	0.009	480	24	30	534								
22	67	夜	67	70	65	47	夜	47	60	0.008	0.011	270	72	0	342	
23	68					48				0.005	0.010	222	42	0	264	
平均/計	68					49				0.010	0.014	12,258	1,986	504	14,748	

令和4年度

定点	6 道路：都道7号(五日市街道)				調査日	10月20日10時～10月21日10時				道路騒音地域類型				b		
測定点	若葉図書館前				番地	若葉町3-34-1				用途地域 第1種住居				道路振動区域の区分		1
時間	騒音 (dB)				振動 (dB)				大気		交通量 (台)					
	時間別 等価騒音 レベル	区分	時間帯別 等価騒音 レベル	要請 限度値	環境 基準値	80%レンジ 上端値 L10	区分	時間帯 平均値	要請 限度値	二酸化 窒素 ppm	浮遊粒 子状物 質 mg/m ³	小 型	大 型	二 輪	合 計	
0	63	夜	65	70	65	42	夜	46	60	0.012	0.005	108	36	6	150	
1	64					47				0.017	0.012	96	84	6	186	
2	64					40				0.013	0.017	84	36	6	126	
3	65					49				0.013	0.010	66	72	6	144	
4	65					47				0.013	0.012	84	66	6	156	
5	67					52				0.013	0.013	180	126	12	318	
6	69	昼	66	75	70	53	昼	47	65	0.019	0.010	510	180	30	720	
7	69					52				0.018	0.023	732	150	48	930	
8	66					50				0.012	0.014	570	108	30	708	
9	66					48				0.014	0.026	516	108	18	642	
10	67					47				0.009	0.038	654	96	30	780	
11	67					50				0.007	0.021	828	156	18	1,002	
12	64					48				0.010	0.027	648	84	36	768	
13	64					47				0.010	0.013	654	90	12	756	
14	64					46				0.009	0.013	768	102	24	894	
15	65					46				0.011	0.012	900	84	30	1,014	
16	64					46				0.018	0.009	834	102	42	978	
17	65					46				0.025	0.017	858	66	36	960	
18	63	42	0.024	0.028	822	12	24	858								
19	66	45	0.029	0.013	762	48	66	876								
20	64	43	0.023	0.028	720	18	60	798								
21	64	夜	65	70	65	45	夜	46	60	0.024	0.015	522	54	30	606	
22	64					43				0.023	0.030	318	48	18	384	
23	63					43				0.014	0.011	216	42	6	264	
平均/計	65					47				0.016	0.017	12,450	1,968	600	15,018	

令和4年度

定点	7 道路：都道16号(立川通り)				調査日 11月1日10時～11月2日10時				道路騒音地域類型 c													
測定点	高松防災倉庫前		番地		高松町2-26-3		用途地域 商業		道路振動区域の区分 2													
時間	騒音 (dB)				振動 (dB)				大気		交通量 (台)											
	時間別 等価騒音 レベル	区分	時間帯別 等価騒音 レベル	要請 限度値	環境 基準値	80% 上端値 L10	区分	時間帯 平均値	要請 限度値	二酸化 窒素 ppm	浮遊粒 子状物 質 mg/m ³	小型	大型	二輪	合計							
0	66	夜	66	70	65	34	夜	37	65	0.014	0.007	270	30	6	306							
1	66					35				0.013	0.013	198	24	0	222							
2	66					33				0.015	0.014	150	42	12	204							
3	64					35				0.013	0.006	90	66	0	156							
4	66					35				0.015	0.017	96	48	0	144							
5	67					37				0.016	0.007	258	78	24	360							
6	68	昼	67	75	70	39	昼	38	70	0.017	0.006	348	108	18	474							
7	68					41				0.021	0.011	582	156	18	756							
8	69					41				0.020	0.025	504	156	24	684							
9	67					41				0.018	0.009	552	156	30	738							
10	67					38				0.015	0.024	516	156	36	708							
11	68					39				0.013	0.023	696	186	36	918							
12	66					39				0.008	0.028	756	162	54	972							
13	67					39				0.010	0.025	714	126	30	870							
14	67					38				0.008	0.013	672	150	30	852							
15	66					38				0.010	0.023	744	114	54	912							
16	66					37				0.010	0.012	744	114	36	894							
17	67					37				0.014	0.010	690	114	30	834							
18	66					37				0.016	0.017	588	84	42	714							
19	66					37				0.013	0.012	600	102	36	738							
20	66					38				0.012	0.010	474	90	42	606							
21	66					38				0.017	0.022	516	90	30	636							
22	67					夜				66	70	65	38	夜	37	65	0.014	0.006	480	108	18	606
23	67												37				0.015	0.017	294	66	12	372
平均/計	67					38				0.014	0.015	11,532	2,526	618	14,676							

令和4年度

定点	8 道路：都道256号(甲州街道)				調査日 11月24日10時～11月25日10時				道路騒音地域類型 b													
測定点	錦町下水処理場 東		番地		錦町5-20-25		用途地域 第1種住居		道路振動区域の区分 1													
時間	騒音 (dB)				振動 (dB)				大気		交通量 (台)											
	時間別 等価騒音 レベル	区分	時間帯別 等価騒音 レベル	要請 限度値	環境 基準値	80% 上端値 L10	区分	時間帯 平均値	要請 限度値	二酸化 窒素 ppm	浮遊粒 子状物 質 mg/m ³	小型	大型	二輪	合計							
0	66	夜	67	70	65	40	夜	40	60	0.012	0.004	234	72	6	312							
1	67					38				0.011	0.010	186	36	6	228							
2	65					40				0.012	0.008	78	54	0	132							
3	66					39				0.014	0.010	114	42	12	168							
4	67					38				0.015	0.012	168	42	0	210							
5	67					41				0.011	0.010	234	60	42	336							
6	71	昼	70	75	70	44	昼	42	65	0.008	0.013	408	174	30	612							
7	70					44				0.010	0.020	990	138	54	1,182							
8	68					40				0.016	0.011	1,098	78	108	1,284							
9	70					43				0.015	0.016	840	186	36	1,062							
10	68					41				0.005	0.034	822	120	48	990							
11	71					44				0.005	0.038	816	144	24	984							
12	67					43				0.003	0.021	852	108	54	1,014							
13	68					45				0.006	0.006	846	150	30	1,026							
14	69					42				0.017	0.012	744	84	78	906							
15	69					42				0.015	0.012	780	96	48	924							
16	69					41				0.014	0.009	870	78	42	990							
17	68					42				0.006	0.006	1,080	84	36	1,200							
18	72					39				0.008	0.007	1,188	48	78	1,314							
19	70					38				0.010	0.010	882	12	60	954							
20	72					38				0.009	0.008	858	24	54	936							
21	70					39				0.009	0.009	678	24	42	744							
22	70					夜				67	70	65	40	夜	40	60	0.009	0.017	240	54	36	330
23	66												37				0.008	0.005	240	36	24	300
平均/計	69					41				0.010	0.013	15,246	1,944	948	18,138							

令和4年度

定点	9	道路	都道29号(新奥多摩街道)		調査日	10月13日13時～10月14日13時			道路騒音地域類型	b					
測定点	立川公園前		番地	錦町5-13	用途地域	第1種住居		道路振動区域の区分	1						
時間	騒音 (dB)				振動 (dB)			大気				交通量 (台)			
	時間別等価騒音レベル	区分	時間帯別等価騒音レベル	要請限度値	環境基準値	80%レンジ上端値 L10	区分	時間帯	要請限度値	二酸化窒素 ppm	浮遊粒子状物質 mg/m ³	小型	大型	二輪	合計
0	66	夜	67	70	65	30	夜	34	60	/	/	228	54	12	294
1	67					35						198	156	0	354
2	66					32						162	84	0	246
3	67					34						156	102	18	276
4	67					35						174	138	12	324
5	70	39	504	228	18	750									
6	71	41	1,074	240	24	1,338									
7	71	37	1,590	198	48	1,836									
8	71	37	1,230	246	42	1,518									
9	67	35	1,164	300	36	1,500									
10	68	35	978	246	18	1,242									
11	70	37	1,092	246	24	1,362									
12	71	38	1,098	252	30	1,380									
13	69	37	1,104	258	36	1,398									
14	69	35	1,326	306	18	1,650									
15	69	37	1,236	294	60	1,590									
16	68	37	1,374	240	18	1,632									
17	71	34	1,176	168	30	1,374									
18	71	32	1,350	108	30	1,488									
19	71	33	1,410	90	66	1,566									
20	70	36	966	96	36	1,098									
21	68	31	834	66	18	918									
22	68	32	510	66	18	594									
23	66	30	282	72	6	360									
平均/計	69				35							21,216	4,254	618	26,088

令和4年度

定点	10	道路	都道59号(多摩大橋通り)		調査日	11月8日10時～11月9日10時			道路騒音地域類型	a					
測定点	一番公園前		番地	一番町1-40	用途地域	第2種中高層住居専用		道路振動区域の区分	1						
時間	騒音 (dB)				振動 (dB)			大気				交通量 (台)			
	時間別等価騒音レベル	区分	時間帯別等価騒音レベル	要請限度値	環境基準値	80%レンジ上端値 L10	区分	時間帯	要請限度値	二酸化窒素 ppm	浮遊粒子状物質 mg/m ³	小型	大型	二輪	合計
0	63	夜	64	70	65	32	夜	33	60	/	/	150	72	6	228
1	64					34						132	114	12	258
2	63					34						108	102	12	222
3	64					31						90	66	0	156
4	63					34						96	78	6	180
5	65	35	228	102	24	354									
6	67	38	408	180	18	606									
7	67	34	642	132	60	834									
8	66	35	612	132	90	834									
9	65	35	582	150	30	762									
10	64	34	438	180	12	630									
11	64	35	540	174	42	756									
12	65	36	606	156	30	792									
13	65	36	504	138	30	672									
14	65	34	624	138	18	780									
15	64	35	582	102	24	708									
16	63	35	612	126	30	768									
17	65	33	654	84	30	768									
18	61	32	564	48	42	654									
19	62	31	636	54	84	774									
20	64	31	540	66	42	648									
21	64	29	516	54	18	588									
22	65	31	414	60	36	510									
23	64	29	198	42	30	270									
平均/計	64				33							10,476	2,550	726	13,752

(11) 自動車騒音面的評価結果

評価対象 路線名	評価 実施 年度	評価 予定 年度	車 線 数	評価区間 の 始点	評価区間 の 終点	区間 延長 (km)	達成率		達成戸数		評価対象 住居等 戸数 A (B+C+D+E)	昼夜とも 基準値 以下 B (戸)	昼間のみ 基準値 以下 C (戸)	夜間のみ 基準値 以下 D (戸)	昼夜とも 基準値 超過 E (戸)
							昼間 (%)	夜間 (%)	昼間 (戸)	夜間 (戸)					
都道杉並あきる野線	R4	R9	2	若葉町2-55	幸町3-34	1.2	100	99	516	511	516	511	5	0	0
都道杉並あきる野線	R4	R9	2	幸町3-34	幸町5-1	1.3	100	100	536	536	536	536	0	0	0
都道杉並あきる野線	R4	R9	2	幸町5-1	一番町2-19	3.3	94	87	839	780	894	780	59	0	55
都道杉並あきる野線	R4	R9	2	一番町2-19	西砂町	2.7	99	91	530	486	534	486	44	0	4
立川所沢線	R4	R5	4	錦町5-18	曙町	1.6	100	99	1,826	1,818	1,828	1,818	8	0	2
立川所沢線	R3	R5	5	曙町	曙町2-32	0.5	100	100	473	473	473	473	0	0	0
立川所沢線	H31	R5	2	曙町2-32	栄町3-1	0.8	100	92	1,695	1,556	1,696	1,556	139	0	1
立川所沢線	R4	R5	2	栄町3-1	幸町3-34	2.0	100	100	530	530	530	530	0	0	0
立川所沢線	R4	R5	2	幸町3-34	幸町4-45	0.6	100	92	249	229	250	229	20	0	1
立川青梅線	R4	R9	4	錦町5-19	富士見町6-35	2.5	94	88	775	730	826	730	45	0	51
立川青梅線	R4	R9	1	錦町5-18	錦町5-9	0.3	100	100	130	130	130	130	0	0	0
立川青梅線	R4	R9	2	錦町5-9	柴崎町4-1	0.5	100	100	247	247	247	247	0	0	0
立川青梅線	R4	R9	2	柴崎町4-1	柴崎町2-25	0.2	100	100	177	177	177	177	0	0	0
立川青梅線	R4	R9	2	柴崎町2-25	柴崎町1-11	0.4	100	100	237	237	237	237	0	0	0
立川青梅線	R4	R9	2	柴崎町1-11	富士見町3-11	1.4	100	100	482	482	482	482	0	0	0
立川東大和線	H31	R6	2	羽衣町2-4	曙町3-29	0.9	100	100	51	51	51	51	0	0	0
立川東大和線	H31	R6	2	曙町3-29	栄町3-63	0.7	100	100	187	187	187	187	0	0	0
立川東大和線	H31	R6	2	栄町3-1	栄町6-25	1.2	100	99	531	525	532	525	6	0	1
立川東大和線	R4	R6	4	栄町6-25	柏町5-3-1	1.6	100	99	880	878	884	878	2	0	4
立川東大和線	H31	R6	4	緑町	泉町	1.2	100	100	13	13	13	13	0	0	0
立川東大和線	H31	R6	4	泉町	緑町	0.7	100	100	131	131	131	131	0	0	0
所沢武蔵村山立川線	R4	R5	2	砂川町8-39	砂川町4-18	1.1	100	100	561	561	563	561	0	0	2
八王子武蔵村山線	R4	R7	2	一番町1-2	一番町3-1	0.7	100	97	354	345	355	345	9	0	1
八王子武蔵村山線	R4	R7	2	一番町3-1	一番町4-59	0.8	100	100	185	185	185	185	0	0	0
八王子武蔵村山線	R2	R7	2	一番町1-1	上砂町3-53	0.8	100	99	217	215	217	215	2	0	0
立川国分寺線	R2	R7	2	錦町1-12	錦町2-11	1.1	100	100	1,710	1,710	1,710	1,710	0	0	0
立川日野線	R4	R6	4	柴崎町4-1	柴崎町6-22	0.7	100	100	186	186	186	186	0	0	0
立川昭島線	R3	R8	4	曙町	曙町2-42	0.4	100	100	274	274	274	274	0	0	0
立川昭島線	R3	R8	4	曙町2-42	緑町	0.4	100	100	224	224	224	224	0	0	0
立川昭島線	R3	R8	4	緑町	富士見町1-36-10	1.2	100	100	5	5	5	5	0	0	0
立川昭島線	R4	R8	4	砂川町1-60	緑町	2.4	100	100	61	61	61	61	0	0	0
立川昭島線	R3	R8	2	緑町	富士見町1-33	1.3	100	100	1,818	1,818	1,818	1,818	0	0	0
三ツ木八王子線	R3	R8	2	一番町6-6(市境)	一番町4-44	0.8	100	100	222	222	222	222	0	0	0
三ツ木八王子線	R3	R8	2	一番町1-61	一番町1-37-5(市境)	0.3	100	100	58	58	58	58	0	0	0
八王子国立線	R4	R7	3	錦町6-29	錦町5-19	0.3	94	94	33	33	35	33	0	0	2
八王子国立線	R2	R7	4	錦町6-21	錦町6-25	0.4	85	83	175	171	206	171	4	0	31
市道1級13号線	R2	R7	4	一番町1-27	砂川町1-26	2.1	100	100	365	364	365	364	1	0	0
市道1級19号線	H31	R6	4	曙町2-42	緑町	1.1	100	100	315	315	315	315	0	0	0
市道中129号線	R3	R8	4	緑町	緑町	0.3	100	100	3	3	3	3	0	0	0
市道中138号線	R3	R8	4	緑町	緑町	0.2	100	100	0	0	0	0	0	0	0

(特記事項)

1. 測定は市内の主要路線を5年周期で順次行います。
2. 交差する路線を評価する際、双方の路線に重複する住居の数を補正するため、過年度の達成率及び達成戸数が増える場合があります。

(12) 公共施設のエネルギー起源による二酸化炭素排出量（実排出量） 立川市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づく集計

[単位:t-CO2]

公共施設のエネルギー起源による二酸化炭素排出量(実排出量)+調整後排出量との比較

施設名	平成25年度 (基準年度)	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度 調整後
本庁舎等	952	1,117	620	340	1204	1085	788	240
女性総合センター(1・5階)	351	300	277	271	250	260	269	269
子ども未来センター	222	201	190	180	186	181	130	0
行政窓口	3	35	32	36	36	35	36	34
たましんRISURUホール	249	837	822	787	615	696	625	258
にこにこサロン・BASE298	1	1	1	0	0	1	3	3
保育園等	507	400	335	330	294	287	264	204
児童館	137	198	203	198	198	163	160	197
学童保育所	67	64	55	53	55	54	54	47
斎場	29	27	25	24	21	19	19	19
地域福祉サービスセンター	229	172	171	157	173	166	152	136
福祉会館等	428	469	455	398	371	442	391	304
総合福祉センター	327	343	353	329	332	324	343	343
福祉作業所	37	39	38	36	37	36	37	37
健康会館	134	166	166	157	139	169	113	8
総合リサイクルセンター	438	387	373	365	362	352	220	3
公衆便所	6	4	4	4	4	4	4	4
清掃工場・クリーンセンター	4,302	2,802	2,726	2,710	2,666	2,695	2,508	2,503
下水処理場(高度処理施設含む)	4,850	4,464	4,471	4,161	3,990	3,975	3,942	3,862
ポンプ場	100	103	95	103	100	93	63	5
競輪場	1,817	607	1,124	341	742	752	663	211
防災施設等	20	19	17	18	21	17	46	46
駐輪場	117	114	132	125	122	109	161	162
駐車場	177	133	117	112	108	178	104	104
シルバーワークセンター	18	19	18	17	18	18	19	18
立川駅南口地域安全サービスステーション	1	2	2	2	2	1	1	1
公園	48	52	50	50	21	17	18	18
コトリンク(カフェ・物販)	—	—	—	—	—	—	60	60
コトリンク(情報発信センター)	—	—	—	—	—	—	3	3
チャレンジショップ	12	7	6	9	3	5	2	2
ファーマーズセンターみののーれ立川	40	67	84	79	77	79	80	78
中里測定局	3	1	0	0	0	0	0	0
旧多摩川小学校跡施設	45	102	102	86	69	77	66	67
街路灯	3,330	3,004	2,890	2,417	927	780	818	816
庁用車	188	140	137	128	110	116	119	119
泉市民体育館	563	520	507	448	282	297	400	400
柴崎市民体育館	586	684	713	720	654	701	739	781
屋外体育施設等	95	97	76	85	68	72	65	51
学校給食共同調理場	958	941	898	883	824	928	867	874
学習等供用施設	299	346	328	321	384	286	259	148
八ヶ岳山荘	253	271	260	241	189	258	254	247
歴史民俗資料館	15	29	28	24	26	26	21	9
古民家園	5	3	2	2	2	2	2	3
学習館	403	320	299	289	268	291	209	76
中央図書館	560	468	433	416	384	399	413	413
図書館(地区館)	135	163	154	147	136	146	108	23
小中学校	3,438	4,168	4,011	3,706	4,013	4,112	3,583	1,908
市長部局合計	19,185	17,696	17,385	15,276	14,257	14,256	13,485	11,413
教育部局合計	7,309	6,710	6,411	6,029	6,226	6,448	5,716	3,701
合計	26,494	24,406	23,796	21,305	20,483	20,704	19,201	15,114

※ 小数点以下を四捨五入しているため、合計値とは一致しないことがあります。

※基準年度比
43%削減

※コスモE.S.のグリーン電気(二酸化炭素排出実質0メニュー)調達により調整後排出係数を使用した計算で実排出よりも約4千t-CO2の削減

(13) 市内放射線量の測定結果

●市内8か所の定点調査結果（空間放射線量単位：マイクロシーベルトパーアワー）
令和4年度

測定 通し 番号	測定日	No.1		No.2		No.3		No.4		No.5		No.6		No.7		No.8	
		西砂小学校		第九小学校		砂川中央 地区多目的 運動場		諏訪の森 公園		幸小学校		南砂小学校		市役所 北側広場		第三小学校	
		地上 1m	地上 5cm	地上 1m	地上 5cm	地上 1m	地上 5cm	地上 1m	地上 5cm	地上 1m	地上 5cm	地上 1m	地上 5cm	地上 1m	地上 5cm	地上 1m	地上 5cm
155	R04.06.01	0.04	0.04	0.04	0.06	0.04	0.04	0.03	0.04	0.03	0.03	0.03	0.03	0.04	0.05	0.04	0.04
156	R04.09.07	0.03	0.04	0.05	0.05	0.03	0.04	0.04	0.05	0.03	0.04	0.03	0.03	0.04	0.06	0.06	0.05
157	R04.12.07	0.04	0.04	0.05	0.04	0.04	0.04	0.05	0.05	0.03	0.03	0.03	0.03	0.04	0.05	0.04	0.05
158	R05.03.01	0.04	0.04	0.06	0.07	0.04	0.04	0.05	0.05	0.04	0.04	0.03	0.03	0.05	0.06	0.04	0.05

年間値	1m 平均	0.04	5cm 平均	0.04	最大	0.07	最少	0.03	※年度の全データの平均と最大値・最小値
-----	-------	------	--------	------	----	------	----	------	---------------------

●下水処理における放射能等測定（令和4年度）

令和4年度 立川市 下水処理場 放射線等測定結果

測定回数は、状況により変わることがあります。

測定実施日		放射線量 錦町下水処理場敷地境界口 (μ Sv/h)				採取日	放射能 汚泥焼却灰 (Bq/kg)			放射能 多摩川放流水 (Bq/l) 1回程度/四半期 二次処理水			放射能 根川せせらぎ用水 (Bq/l) 1回/月(7~10月(夏季)) 高度処理水		
月	日	北	南	東	西	日	セシウム 134	セシウム 137	セシウム 合計	ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137	ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137
4	12	0.06	0.05	0.03	0.05	12	不検出	54	54	-	-	-	-	-	-
4	26	0.06	0.05	0.04	0.05	26	不検出	67	67	-	-	-	-	-	-
5	10	0.05	0.04	0.03	0.06	10	不検出	49	49	不検出	不検出	不検出	-	-	-
5	24	0.05	0.05	0.04	0.06	24	不検出	101	101	-	-	-	-	-	-
5	31	0.05	0.05	0.04	0.05	31	不検出	60	60	-	-	-	-	-	-
6	7	0.06	0.05	0.03	0.06	7	21	159	180	-	-	-	-	-	-
6	21	0.05	0.05	0.03	0.06	20	不検出	11	11	-	-	-	-	-	-
6	28	0.06	0.04	0.03	0.05	28	不検出	84	84	-	-	-	-	-	-
7	5	0.05	0.05	0.04	0.05	5	不検出	86	86	-	-	-	不検出	不検出	不検出
7	19	0.05	0.05	0.04	0.05	19	不検出	85	85	-	-	-	-	-	-
8	2	0.05	0.04	0.04	0.05	2	不検出	55	55	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
8	9	0.06	0.05	0.04	0.05	9	不検出	73	73	-	-	-	-	-	-
8	22	0.05	0.04	0.03	0.06	22	不検出	64	64	-	-	-	-	-	-
8	30	0.05	0.04	0.04	0.06	30	不検出	54	54	-	-	-	-	-	-
9	6	0.05	0.04	0.04	0.05	6	不検出	66	66	-	-	-	不検出	不検出	不検出
9	20	0.05	0.05	0.04	0.06	20	不検出	156	156	-	-	-	-	-	-
9	29	0.05	0.04	0.04	0.05	29	不検出	96	96	-	-	-	-	-	-
10	11	0.05	0.05	0.04	0.05	11	不検出	78	78	-	-	-	不検出	不検出	不検出
10	24	0.05	0.05	0.04	0.06	24	不検出	55	55	-	-	-	-	-	-
11	1	0.05	0.05	0.04	0.06	1	不検出	50	50	不検出	不検出	不検出	-	-	-
11	15	0.06	0.05	0.04	0.06	15	不検出	25	25	-	-	-	-	-	-
11	29	0.05	0.06	0.04	0.06	29	不検出	40	40	-	-	-	-	-	-
12	13	0.05	0.06	0.04	0.06	13	不検出	33	33	-	-	-	-	-	-
12	23	0.06	0.05	0.04	0.06	23	不検出	52	52	-	-	-	-	-	-
1	10	0.05	0.06	0.04	0.05	10	不検出	37	37	-	-	-	-	-	-
1	17	0.04	0.05	0.04	0.05	17	不検出	36	36	-	-	-	-	-	-
1	31	0.05	0.05	0.04	0.05	31	不検出	40	40	-	-	-	-	-	-
2	7	0.05	0.05	0.03	0.05	7	不検出	33	33	不検出	不検出	不検出	-	-	-
2	21	0.05	0.05	0.03	0.05	21	不検出	34	34	-	-	-	-	-	-
2	28	0.05	0.04	0.03	0.05	28	不検出	31	31	-	-	-	-	-	-
3	14	0.05	0.04	0.03	0.05	14	不検出	30	30	-	-	-	-	-	-
3	27	0.05	0.05	0.04	0.05	27	不検出	64	64	-	-	-	-	-	-

●ごみ焼却処理における放射能等測定結果

令和4年度 焼却灰等の放射線量測定結果

1 焼却灰の測定結果

基準値：8,000 Bq / kg

旧清掃工場

単位：Bq / kg

試料採取日	施設名		放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム 134	放射性 セシウム 137	放射性 セシウム計
R 4 . 4 . 1	2号炉	主灰 *1	不検出	不検出	10	10
		飛灰 *2	不検出	不検出	38	38
R 4 . 5 . 6	2号炉	主灰 *1	不検出	不検出	不検出	不検出
		飛灰 *2	不検出	不検出	43	43
R 4 . 6 . 3	3号炉	主灰 *1	不検出	不検出	不検出	不検出
		飛灰 *2	不検出	不検出	39	39
R 4 . 7 . 1	2号炉	主灰 *1	不検出	不検出	11	11
		飛灰 *2	不検出	不検出	45	45
R 4 . 8 . 5	2号炉	主灰 *1	不検出	不検出	14	14
		飛灰 *2	不検出	不検出	32	32
R 4 . 9 . 9	3号炉	主灰 *1	不検出	不検出	不検出	不検出
		飛灰 *2	不検出	不検出	32	32
R 4 . 10 . 14	3号炉	主灰 *1	不検出	不検出	不検出	不検出
		飛灰 *2	不検出	不検出	34	34
R 4 . 11 . 4	3号炉	主灰 *1	不検出	不検出	不検出	不検出
		飛灰 *2	不検出	不検出	37	37
R 4 . 12 . 2	3号炉	主灰 *1	不検出	不検出	不検出	不検出
		飛灰 *2	不検出	不検出	51	51
焼却炉の稼働停止により令和4年12月で焼却灰の測定は終了しました。						

クリーンセンター

試料採取日	施設名		放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム 134	放射性 セシウム 137	放射性 セシウム計
R 4 . 12 . 1	1号炉	主灰 *1	—	不検出	不検出	不検出
		飛灰 *2	—	不検出	27	27
R 4 . 12 . 2	2号炉	主灰 *1	—	不検出	不検出	不検出
		飛灰 *2	—	不検出	33	33
R 5 . 1 . 12	1, 2号炉	主灰 *1	—	不検出	不検出	不検出
		飛灰 *2	—	不検出	27.4	27.4
R 5 . 2 . 1	1, 2号炉	主灰 *1	—	不検出	不検出	不検出
R 5 . 2 . 17	1号炉	飛灰 *2	—	不検出	36	36
	2号炉	飛灰 *2	—	不検出	27.6	27.6
R 5 . 3 . 3	1, 2号炉	主灰 *1	不検出	不検出	不検出	不検出
		飛灰 *2	不検出	不検出	23	23

- *1 主灰：燃やしたごみの燃えがらのことで、焼却炉の底から排出される灰のことをいいます。
- *2 飛灰：ろ過式集塵器などで捕集した排ガス中に含まれているダスト（ばいじん）のことをいいます。
- *測定方法 ゲルマニウム半導体検出器による γ 線スペクトロメトリー法
- *測定値が検出下限値未満の場合は不検出としました（下限値 $10\text{Bq}/\text{kg}$ ）。

2 空間放射線量（敷地境界線）の測定結果

基準値 $0.23\mu\text{Sv}/\text{h}$ 単位： $\mu\text{Sv}/\text{h}$

旧清掃工場

測定日	東	西	南	北
R 4. 4. 1	0.07	0.08	0.06	0.07
R 4. 5. 6	0.06	0.08	0.06	0.06
R 4. 6. 3	0.07	0.08	0.06	0.06
R 4. 7. 1	0.06	0.08	0.06	0.07
R 4. 8. 5	0.07	0.08	0.06	0.06
R 4. 9. 9	0.07	0.08	0.06	0.07
R 4.10.14	0.06	0.07	0.06	0.07
R 4.11. 4	0.06	0.07	0.06	0.07
R 4.12. 2	0.08	0.08	0.06	0.05
R 5. 1. 6	0.07	0.07	0.06	0.06
R 5. 2. 3	0.06	0.08	0.06	0.06
R 5. 3. 3	0.06	0.08	0.06	0.07

空間放射線量（敷地境界線）の測定は焼却炉稼働停止により令和 5年 3月で終了しました。

クリーンセンター

測定日	東	西	南	北
R 5. 1. 18	0.0612	0.0416	0.0604	0.0532
R 5. 1. 25	0.064	0.0668	0.061	0.0656
R 5. 2. 1	0.0586	0.0636	0.0542	0.0576
R 5. 2. 8	0.067	0.0592	0.0642	0.0626
R 5. 2. 15	0.0414	0.0564	0.045	0.0504
R 5. 3. 3	0.0616	0.0556	0.0440	0.0512

- *測定方法 平成 25 年 3 月～の測定は環境省「放射能濃度等測定方法ガイドライン」に準拠した方法による。
- *測定機器 旧清掃工場 堀場製作所 PA-1000 Radi
クリーンセンター
堀場製作所 PA-1000 Radi (R5. 1. 18～2. 15 測定分)
株式会社 RS ダイナミックス・ジャパン RT-30 (R5. 3. 3 測定分)
- *測定場所 敷地境界の 4 箇所
- *測定結果は敷地境界東西南北で 5 回測定した平均値です。

備考 クリーンセンターの測定結果については、令和 5 年 2 月 28 日までは新清掃工場整備運営事業 施設整備工事で、令和 5 年 3 月 1 日以降は新清掃工場整備運営事業 運営業務委託で測定した結果です。

(14) 令和4年度低炭素まちづくりの施策評価結果

	施策番号	立川市第4次長期総合計画後期基本計画による施策	①市民・事業者を対象に低炭素化を進める事業	②市民・事業者を対象に地球温暖化の進行に適切していくための事業	③行政施設、設備の管理運営で低炭素化	④行政事務で低炭素化	該当カテゴリー数		総合評価
							実施カテゴリー数	実施カテゴリー数	
子ども・学び・文化	01	子ども自らの育ちの推進			★	★	2	2	○
	02	家庭や地域の育てる力の促進				★	1	1	○
	03	子育てと仕事の両立支援			★	★	2	2	○
	04	配慮を必要とする子どもや子育て家庭への支援			△	★	2	1	○
	05	学校教育の充実	★		★	★	3	3	○
	06	教育支援と教育環境の充実			★	★	2	2	○
	07	学校・家庭・地域の連携による教育力の向上				★	1	1	○
	08	生涯学習社会の実現			△	★	2	1	○
	09	スポーツの推進		★	△	★	3	2	○
	10	文化芸術の振興			△	★	2	1	○
	11	多文化共生の推進				★	1	1	○
環境・安全	12	持続可能な環境の保全	★	★	★	★	4	4	○
	13	ごみ減量とリサイクル	★		★	★	3	3	○
	14	下水道の管理	★	★	△	★	4	3	○
	15	豊かな水と緑の保全	★	★	★	★	4	4	○
	16	防災・災害対策の推進		★	△	★	3	2	○
	17	生活安全の推進	★	★	△	★	4	3	○
都市基盤・産業	18	良好な市街地環境の形成	★	★		★	3	3	○
	19	総合的な交通環境の構築	★		△	★	3	2	○
	20	道路環境の整備	★		★	★	3	3	○
	21	広域的な魅力の創出と発信			★	★	2	2	○
	22	多様な産業の活性化			★	★	2	2	○
	23	地域に根ざした働く場の創出				★	1	1	○
	24	都市と農業の共生	★		△	★	3	2	○
福祉・保健	25	地域福祉の推進			△	★	2	1	○
	26	健康づくりの推進		★	△	★	3	2	○
	27	豊かな長寿社会の実現			△	★	2	1	○
	28	障害福祉の推進	★			★	2	2	○
	29	生活保障の充実				★	1	1	○
	30	社会保険制度の安定運営				★	1	1	○
行政経営・コミュニケーション	31	市民活動と地域社会の活性化	★			★	2	2	○
	32	男女平等参画社会の推進		★	△	★	3	2	○
	33	積極的な情報の発信と共有				★	1	1	○
	34	計画的な自治体運営の推進	★		★	★	3	3	○
	35	公共施設マネジメントの推進	★			★	2	2	○
	36	持続可能な財政運営の推進			★	★	2	2	○
	37	職場力の強化と職員力の向上				★	1	1	○

※★は該当かつ達成。△は定量的な目標があり、かつ未達成

37

低炭素まちづくりの評価方法

①市民・事業者を対象に低炭素化を進める事業	実施のありなし
②市民・事業者を対象に地球温暖化の進行に適切していくための事業	実施のありなし
③行政施設、設備の管理運営で低炭素化	実施のありなし、低炭素化の数値
④行政事務で低炭素化	実施のありなし

評価①～④のカテゴリーごとに実施状況进行评估し、総合的に50%以上実施できていた場合に低炭素まちづくりが施策に取り入れられていると評価する。 **令和4年度は37施策中37施策。**

3 環境基準

(1) 大気汚染に係る環境基準

物質	環境上の条件(設定年月日等)
二酸化硫黄	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。(S48.5.16告示)
一酸化炭素	1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること。(S48.5.8告示)
浮遊粒子状物質	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。(S48.5.8告示)
二酸化窒素	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内、又は、それ以下であること。(S53.7.11告示)
光化学オキシダント	1時間値が0.06ppm以下であること。(S48.5.8告示)
ベンゼン	1年平均値が0.003mg/m ³ 以下であること。(H9.2.4告示)
トリクロロエチレン	1年平均値が0.13mg/m ³ 以下であること。(H30.11.19告示)
テトラクロロエチレン	1年平均値が0.2mg/m ³ 以下であること。(H9.2.4告示)
ジクロロメタン	1年平均値が0.15mg/m ³ 以下であること。(H13.4.20告示)
ダイオキシン類	1年平均値が0.6pg-TEQ/m ³ 以下であること。(H11.12.27告示)
微小粒子状物質	1年平均値が15μg/m ³ 以下であり、かつ、1日平均値が35μg/m ³ 以下であること。(H21.9.9告示)

環境基準による評価方法には、連続してまたは随時に行った測定結果に係る「短期的評価」と、1年間にわたる測定結果に係る「長期的評価」があります。

① 短期的評価

連続してまたは随時に行った測定により得られた値の1日平均値もしくは8時間平均値または各1時間値を環境基準と比較して評価を行います。二酸化硫黄、一酸化炭素、浮遊粒子状物質、光化学オキシダントに関する評価方法が定められています。

② 長期的評価

ア 二酸化硫黄、一酸化炭素、浮遊粒子状物質の場合

1年間の測定により得られたすべての1日平均値のうち、高い方から2%の範囲にある測定値(365日分の測定値がある場合には7日分の測定値)を除外した後の最高値(2%除外値)を環境基準と比較して評価します。ただし、環境基準を超える日が2日以上連続した場合には非達成と評価します。

イ 二酸化窒素の場合

1年間の測定により得られたすべての1日平均値のうち、低い方から98%目(365日分の測定値がある場合には358番目)に相当する値(年間98%値)が0.06ppm以下であれば環境基準達成と評価します。

ウ 微小粒子状物質の場合

1年平均値が長期基準の15μg/m³以下であり、かつ1日平均値の年間98%値が短期基準の35μg/m³以下であれば環境基準達成と評価します。1年平均値と1日平均値の98%値のどちらか一方が基準を超えれば非達成と評価します。

* 1年間にわたって長期的に評価する場合、年間測定時間が6,000時間以上の測定局だけが対象となります。

(2) 騒音・振動に係る各種基準

① 騒音の規制基準

(騒音規制法の特定工場等に係る規制基準)

区域の区分		時間の区分		敷地の境界における音量 (dB)
第1種区域	第1種低層住居専用地域 第2種低層住居専用地域 A地 清瀬市松山3丁目、竹丘1丁目及び3丁目の一部	朝	午前6時から 午前8時まで	40
		昼間	午前8時から 午後7時まで	45
		夕	午後7時から 午後11時まで	40
		夜間	午後11時から 翌日午前6時まで	40
第2種区域	第1種中高層住居専用地域 第2種中高層住居専用地域 第1種住居地域 第2種住居地域 * 第1特別地域 **用途地域の定めのない地域	朝	午前6時から 午前8時まで	45
		昼間	午前8時から 午後7時まで	50
		夕	午後7時から 午後11時まで	45
		夜間	午後11時から 翌日午前6時まで	45
第3種区域	近隣商業地域 準工業地域 * 第2特別地域	朝	午前6時から 午前8時まで	55
		昼間	午前8時から 午後7時まで	60
		夕	午後7時から 午後11時まで	55
第4種区域	工業地域	朝	午前6時から 午前8時まで	60
		昼間	午前8時から 午後7時まで	70
		夕	午後7時から 午後11時まで	60
		夜間	午後11時から 翌日午前6時まで	55

第2種、第3種及び第4種区域内の学校（含む幼稚園）、保育所、病院、診療所（有床）、図書館及び特別養護老人ホームの敷地の周囲おおむね50mの区域内（第1特別地域及び第2特別地域を除く。）における当該基準は、上欄に定める値から5dBを減じた値とする。
* 特別地域は、基準が2段階以上、異なる区域が接している場合に、基準の厳しい区域の周囲30mの範囲に設定します。
** 用途地域の定めのない地域とは、都市計画法による用途地域の定められていない地域を言います。なお、第1種、第3種及び第4種区域に該当する地先及び水面は、それぞれに接する区域の基準が適用されます。

(注) 区域の区分 1 立川市域にない用途地域は、一部記載していません。

② 振動の規制基準

騒音規制法の特定工場等に係る規制基準

東京都環境確保条例の工場等に係る振動の基準

区域の区分		時間の区分		敷地の境界における振動の大きさ (dB)
第1種区域	第1種低層住居専用地域 第1種中高層住居専用地域 第2種中高層住居専用地域 第1種住居地域 第2種住居地域 * 第1特別地域 **用途地域の定めのない地域	昼間	午前8時から 午後7時まで	60
		夜間	午後7時から 翌日午前8時まで	55
第2種区域	近隣商業地域 準工業地域	昼間	午前8時から 午後8時まで	65
		夜間	午後8時から 翌日午前8時まで	60

学校（含む幼稚園）、保育所、病院、診療所（有床）、図書館及び特別養護老人ホームの敷地の周囲おおむね50mの区域内における当該基準は、それぞれ上欄に定める値から5dBを減じた値とする。

③ 特定建設作業による騒音・振動基準

特定建設作業 規制業種	騒音規制法関係				振動規制 法関係
	地域区分	くい打機 びょう打機 等	さく岩機	空圧縮機 コンクリート プラント等	
基準値	①②	85dB			75dB
基準値	①	午後7時～午前7時の時間内でないこと			
作業時刻	②	午後10時～午前6時の時間内でないこと			
1日当たりの作業時間	①	10時間/日を超えないこと			
	②	14時間/日を超えないこと			
	①②	連続6日を超えないこと			
	①②	日曜日その他の休日でないこと			

1 基準は騒音・振動ともに、特定建設作業場所の敷地の境界線での値
2 地域区分の①（第1号区域）とは、指定地域の内次に該当する区域である。
(1) 良好な住宅の環境を保全するため、特に静穏の保持を必要とする区域
(2) 住宅の用に供されているため、静穏の保持を必要とする区域
(3) 住宅の用に併せて商業、工業等の用に供されている区域であって、相当数の住居が集合しているため騒音・振動の発生を防止する必要がある区域
(4) 学校、保育所、病院、患者の収容施設を有する診療所、図書館及び特別養護老人ホームの敷地の周囲おおむね80mの区域内
3 地域区分の②（第2号区域）とは、指定地域の内、前記に掲げる区域以外の区域である。

④ 航空機騒音に係る環境基準

地域の類型	基準値	
	Lden (H25.4.1から)	WECPNL (H25.3.31まで)
I	57dB以下	70以下
II	62dB以下	75以下

昭和48年12月27日環境庁告示第154号 平成19年12月17日環境省告示第114号改正

- ・「地域Ⅰ」：都市計画法にいう第1種低層住居専用地域、第2種低層住居専用地域、第1種中高層住居専用地域、第2種中高層住居専用地域、第1種住居地域、第2種住居地域及び準住居地域及び同法の規定による用途地域として定められていない地域
- ・「地域Ⅱ」：その他の地域
- ・新たな評価指標(Lden)は、1日当たりの離着陸回数が10回以下の飛行場であって、警察、消防及び自衛隊等専用の飛行場並びに離島にある飛行場の周辺地域には適用されません。
- ・横田基地周辺は、昭和53年3月に環境基準の類型を当てはめる地域として指定されました。立川飛行場周辺は、評価指標がLdenに変更されたことに伴い、平成26年11月に環境基準の類型を当てはめる地域として指定されました。

環境基準の改正について

我が国の航空機騒音に係る環境基準の評価指標は、昭和48年の策定当初より長年の間、WECPNL（加重等価平均感覚騒音レベル）が採用されてきました。しかし、近年、騒音測定機器が技術的に進歩したことと、諸外国の動向をみると、Lden（時間帯補正等価騒音レベル*）等のエネルギー積分を行う評価指標が採用されていることから、平成19年に環境基準が改正され、平成25年4月1日よりLdenが採用されることとなりました。

旧評価指標（WECPNL）と新評価指標（Lden）の違い

WECPNL（加重等価平均感覚騒音レベル）

WECPNLは、ICAO（国際民間航空機構）で提案された航空機騒音のうるさを表す尺度で、「うるささ指数」とも呼ばれています。

航空機の音は、だんだん大きくなって最大となり、やがて小さくなって聞こえなくなります。音が大きくてもすぐに聞こえなくなればその影響は小さく、音が小さくても長く続けば影響が大きいと考えられます。また、周囲がうるさい昼間は、航空機の音の影響が小さく、静まり返った夜中の音は影響が大きいと考えられます。以上を考慮して評価するのがWECPNLで、測定した航空機の音の最大レベルと航空機の機数から評価値を求めます。なお、航空機の機数は、夕方が3倍、夜間が10倍の重み付けを行います。また、エンジンのテスト音や滑走路への移動音など、定常的な騒音は評価に加えられません。

$$WECPNL = dB(A) + 10 \log_{10} N - 27$$

- ・dB(A)：1日のすべてのピークレベルをパワー平均したもの
- ・N：午前0時～午前7時の航空機の機数をN₁、午前7時～午後7時の航空機の機数をN₂、午後7時～午後10時の航空機の機数をN₃、午後10時～午後12時の航空機の機数をN₄として次のとおり算出した値

$$N = N_2 + 3N_3 + 10(N_1 + N_4)$$

Lden（時間帯補正等価騒音レベル）

Lden は、航空機の音の最大レベルを調査するのではなく、各航空機の音の聞こえ始めから聞こえ終わりまでを測定し、それによって人が受ける騒音エネルギーを求めて評価を行います。国際的には、EU 指令において採用されているとともに、フランス、オランダ、デンマークなど多くの国が採用しています。また、等価騒音レベルを基本とした類似の指標をアメリカ、オーストリア等が採用しているなど、国際的な騒音の評価指標の主流になってきています。

算出方法は次式のとおりで、個々の航空機騒音の単発騒音暴露レベル（LAE）に夕方は 5dB、夜間は 10dB を加えて 1 日の時間帯補正等価騒音レベル（Lden）を算出します。そして、算出した全測定日の Lden をパワー平均して評価します。（単位：dB）また、Lden は、WECPNL では対象としない定常的な航空機騒音も含めた騒音の総暴露量により評価を行います。

$$L_{den} = 10 \log_{10} \left\{ \frac{T_0}{T} \left(\sum_i 10^{\frac{L_{AE,di}}{10}} + \sum_j 10^{\frac{L_{AE,ej} + 5}{10}} + \sum_k 10^{\frac{L_{AE,nk} + 10}{10}} \right) \right\}$$

- ・ i、j、k：それぞれ昼間（午前 7 時～午後 7 時）、夕方（午後 7 時～午後 10 時まで）、夜間（午後 10 時～翌午前 7 時）の時間帯に発生した単発騒音を表す添え字
- ・ $L_{AE,di}$ 、 $L_{AE,ej}$ 、 $L_{AE,nk}$ ：それぞれの時間帯における i 番目、j 番目、k 番目の単発騒音暴露レベル
- ・ T_0 ：規準化時間（1 秒）
- ・ T：観測 1 日の時間（86400 秒）

(3) 道路騒音・振動に係る環境基準、要請限度

① 騒音の環境基準

(単位: dB)

	地域の類型		時間の区分				
	あてはめ地域	地域の区分	6時	昼間	22時	夜間	6時
A	第1種低層住居専用地域 第2種低層住居専用地域	一般地域		55以下		45以下	
	第1種中高層住居専用地域 第2種中高層住居専用地域	2車線以上の車線を有する 道路に面する地域		60以下		55以下	
B	第1種住居地域 第2種住居地域	一般地域		55以下		45以下	
	準住居地域 用途地域の定めのない地域	2車線以上の車線を有する 道路に面する地域		65以下		60以下	
C	近商商業地域 商業地域	一般地域		60以下		50以下	
	準工業地域 工業地域	車線を有する道路に面する 地域		65以下		60以下	

平成10年9月30日環境庁告示第64号、平成24年3月30日環境省告示第54号改正、平成24年4月1日立川市告示第21号

② 自動車騒音要請限度

(単位: dB)

	区域の区分		時間の区分				
	あてはめ地域	車線等	6時	昼間	22時	夜間	6時
a区域	第1種低層住居専用地域	1車線		65		55	
	第2種低層住居専用地域	2車線		70		65	
	第1種中高層住居専用地域 第2種中高層住居専用地域	近接区域		75		70	
b区域	第1種住居地域、第2種住居地域	1車線		65		55	
	準住居地域 用途地域の定めのない地域	2車線以上 近接区域		75		70	
c区域	近隣商業地域、商業地域 準工業地域、工業地域	1車線 2車線以上 近接区域		75		70	

・ 車線とは1縦列の自動車安全かつ円滑に走行するために必要な一定の幅員を有する帯状の車道部分を言う。
・ 近接区域とは、幹線交通を担う道路に近接する区域を言い、幹線交通を担う道路とは、高速自動車国道、一般国道、都道府県及び4車線以上の区市町村道を言う。近接する区域とは、車線の区分に応じた道路端からの距離が2車線以下の車線を有する道路は15メートル、2車線を越える車線を有する道路は20メートルの範囲とする。

平成12年3月2日総理府令第15号、平成24年4月1日立川市告示第30号

③ 道路交通振動要請限度

(単位: dB)

	区域の区分		時間の区分				
	あてはめ地域		8時	昼間	19時	夜間	8時
第1種区域	第1種低層住居専用地域 第2種低層住居専用地域 第1種中高層住居専用地域 第2種中高層住居専用地域 第1種住居地域、第2種住居地域 準住居地域 用途地域の定めのない地域			65		60	
第2種区域	近隣商業地域、商業地域 準工業地域、工業地域			70		65	

第2種区域に該当する地域に接する地先は、第2種区域の基準が適用される。

振動規制法第16条 同施行規則第12条(別表第2)、平成24年4月1日立川市告示第29号

☆音の大きさのめやす、振動のめやす☆

音の大きさや振動について、環境基準をdB（デシベル）単位で記載しています。
dB 単位では、具体的にどれくらいの音の大きさであるか、振動であるかわかりにくいので、ここでは、デシベルのめやすを記載しています。

音の大きさのめやす

120デシベル	飛行機のエンジン近く
110デシベル	自動車のクラクション(前方2m)
100デシベル	電車の通るときガード下
90デシベル	大声による独唱, 騒々しい工場内
80デシベル	地下鉄の車内(窓を開けたとき)・ピアノ
70デシベル	掃除機・騒々しい事務所
60デシベル	普通の会話・チャイム
50デシベル	静かな事務所
40デシベル	深夜の市内・図書館
30デシベル	ささやき声
20デシベル	木の葉のふれあう音
<p>人間の耳で感じる音の大きさは、同じ物理的な強さの音でも、周波数の高低により異なった強さの音に聞こえることがあります。</p> <p>そこで、人間の耳に感じる音の大きさに近似させた量を測定しています。測定した数値を騒音レベルといい、単位を「デシベル」が使われます。</p>	

(出典：東京都環境局)

振動のめやす

90デシベル	家屋がはげしくゆれ、すわりのわるい物がたおれる
80デシベル	家屋がゆれ、戸、しょうじがガタガタと音を立てる
70デシベル	大勢の人に感じるていどのもので、戸、しょうじがわずかに動く
60デシベル	静止している人だけ感じる
50デシベル	人体に感じないていど
<p>振動の大きさは、その振幅や速度などで決まりません。人体への感じ方は複雑なので、人体感覚に合うように補正して測定しており、この単位として「デシベル」が使われます</p>	

(出典：東京都環境局)

(4) 水質汚濁にかかる環境基準

① 生活環境の保全に関する環境基準（河川）

項目 類型	利用目的の適応性	基準値					多摩川水系各河川が該当する生活環境に係る環境基準の水域類型の指定
		水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD)	浮遊物質 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌群数	
AA	水道1級 自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	1mg/L 以下	25mg/L 以下	7.5mg/L 以上	50MPN/ 100mL 以下	多摩川上流(1)(和田橋より上流) 秋川、平井川
A	水道2級 水道1級 水浴 及びB以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	2mg/L 以下	25mg/L 以下	7.5mg/L 以上	1,000MPN/ 100mL 以下	多摩川上流(2)(和田橋から拝島橋) 浅川、残堀川、谷地川 大栗川
B	水道3級 水道2級 及びC以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	3mg/L 以下	25mg/L 以下	5mg/L 以上	5,000MPN/ 100mL 以下	多摩川中流(拝島橋から府中堰) 多摩川下流(府中堰より下流)
C	水道3級 工業用水1級 及びD以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	5mg/L 以下	50mg/L 以下	5mg/L 以上	-	三沢川
D	工業用水2級 農業用水 及びE以下の欄に掲げるもの	6.0以上 8.5以下	8mg/L 以下	100mg/L 以下	2mg/L 以上	-	野川、仙川
E	工業用水3級 環境保全	6.0以上 8.5以下	10mg/L 以下	ごみ等の浮遊が認められないこと	2mg/L 以上	-	

昭和46年12月28日環境庁告示第59号 別表2

- (注) 1 自然環境保全：自然探勝の環境保全
 2 水道 1級：ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
 2級：沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの
 3級：前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの
 3 水産 1級：ヤマメ、イワナ等、貧腐水性水域の水産生物用
 並びに水産2級及び水産3級の水産生物用
 2級：サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産3級の水産生物
 4 工業用水 1級：沈殿等による通常の浄水操作を行うもの
 2級：薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの
 3級：特殊の浄水操作を行うもの
 5 環境保全：国民の日常生活(沿岸の遊歩等を含む。)において不快感を生じない限度

生物環境類型

項目 類型	水生生物の生息状況の適応性	基準値		
		全亜鉛 mg/l以下	ノニルフェノール mg/l以下	LAS mg/l以下
生物A	イワナ、サケマス等比較的低温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03	0.001	0.03
生物特A	生物Aの水域のうち、生物Aの欄に掲げる水生生物の産卵場(繁殖場)又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03	0.0006	0.02
生物B	コイ、フナ等比較的高温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03	0.002	0.05
生物特B	生物Bの水域のうち、生物Bの欄に掲げる水生生物の産卵場(繁殖場)又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03	0.002	0.04

備考
 1 基準値は年間平均とする。基準は平成24年4月1日現在である。(直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩については、平成25年3月27日より実施。)

立川市内では多摩川が「生物B」に指定されています。

②人の健康の保護に関する環境基準と地下水環境基準

項目	人の健康の保護に関する環境基準	地下水環境基準	その他
カドミウム	0.003mg/l 以下	0.003mg/l 以下	重金属
全シアン	検出されないこと。	検出されないこと。	シアン・シアン化合物
鉛	0.01mg/l 以下	0.01mg/l 以下	重金属
六価クロム	0.05mg/l 以下	0.05mg/l 以下	重金属
砒素	0.01mg/l 以下	0.01mg/l 以下	半金属
総水銀	0.0005mg/l以下	0.0005mg/l以下	重金属
アルキル水銀	検出されないこと。	検出されないこと。	重金属
P C B	検出されないこと。	検出されないこと。	塩化ビフェニル類
ジクロロメタン	0.02mg/l 以下	0.02mg/l 以下	有機塩素系溶剤
四塩化炭素	0.002mg/l以下	0.002mg/l以下	有機塩素系溶剤
塩化ビニルモノマー	設定なし	0.002mg/l以下	有機塩素系溶剤
1,2-ジクロロエタン	0.004mg/l以下	0.004mg/l以下	有機塩素系溶剤
1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/l 以下	0.1mg/l 以下	有機塩素系溶剤
1,2-ジクロロエチレン	設定なし	0.04mg/l 以下	有機塩素系溶剤
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/l 以下	設定なし	有機塩素系溶剤
1,1,1-トリクロロエタン	1mg/l 以下	1mg/l 以下	有機塩素系溶剤
1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/l以下	0.006mg/l以下	有機塩素系溶剤
トリクロロエチレン	0.01mg/l 以下	0.01mg/l 以下	有機塩素系溶剤
テトラクロロエチレン	0.01mg/l 以下	0.01mg/l 以下	有機塩素系溶剤
1,3-ジクロロプロペン	0.002mg/l以下	0.002mg/l以下	有機塩素系溶剤
チウラム	0.006mg/l以下	0.006mg/l以下	農薬
シマジン	0.003mg/l以下	0.003mg/l以下	農薬
チオベンカルブ	0.02mg/l 以下	0.02mg/l 以下	農薬
ベンゼン	0.01mg/l 以下	0.01mg/l 以下	有機溶剤
セレン	0.01mg/l 以下	0.01mg/l 以下	半金属
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10mg/l 以下	10mg/l 以下	窒素オキソ酸
ふっ素	0.8mg/l 以下	0.8mg/l 以下	半金属
ほう素	1mg/l 以下	1mg/l 以下	半金属
1,4-ジオキサン	0.05mg/l 以下	0.05mg/l 以下	有機溶剤

昭和 46 年 12 月 28 日環境庁告示第 59 号 別表1
平成9年3月 13 日環境庁告示第 10 号 別表

③ 生物学的水質汚濁階級表

汚濁指数	汚濁の度合	水質階級	目安となる生物			
			水生生物	魚類	付着藻類	
1. 0以上～ 1. 5未満	きれい	Os: 貧腐水性水域	カワゲラ ヒラタカゲロウ ナガレトビケラ ヤマトビケラ ヘビトンボ	ブユ アマカ サワガニ ウズムシ	イワナ ヤマメ アブラハヤ カジカ	石に茶色の藻がついている (珪藻類)
1. 5以上～ 2. 5未満	わりあいきれい	$\beta m: \beta$ —中腐水性水域	コガタシマトビケラ オオシマトビケラ ヒラタドムシ ゲンジボタル コオニヤンマ	スジエビ カワニナ	ウグイ カマツカ タナゴ類 シマドジョウ ヨシノボリ	石に緑色の藻がついている (緑藻類)
2. 5以上～ 3. 5未満	よごれている	$\alpha m: \alpha$ —中腐水性水域	ミズカマキリ タイコウチ ミズムシ タニシ ヒル		フナ類 コイ タモロコ モツゴ オイカワ	
3. 5以上～ 4. 0以下	とてもよごれている	Ps: 強腐水性水域	セスジユスリカ チョウバエ アメリカザリガニ サカマキガイ エラミミズ		普通は生息していない	石に白いフワフワしたものがついている (細菌類など)

全国水生生物調査（環境省・国土交通省）の指標等を参考に作成

4 用語解説

本文中の＊印がついた用語について、あいうえお順に解説し、アルファベットについてはABC順に解説しています。

あ行

アイドリングストップ

信号待ち、荷物の上げ下ろし、短時間の買い物などの駐停車の時に、自動車のエンジンを停止させる行為です。エネルギー使用の低減、大気汚染物質や温室効果ガスの排出抑制などの効果があります。

エコセメント

多摩地域 25 市 1 町のごみの焼却により発生した焼却灰を原料に生産したセメントです。このエコセメントを使用して、歩道のブロック等をつくり、立川市では道路工事等に使用しています。

エコドライブ

環境に配慮した自動車の運転方法のこと。やさしい発進を心がけたり、無駄なアイドリングを止める等により、燃料の節約に努め、地球温暖化に影響を与える温室効果ガスの排出量を減らす効果が見込めます。

温室効果ガス

太陽からの光の大部分を透過させる一方で、地表面から放出させる赤外線を吸収して大気を暖める働きをするガスを指します。主な温室効果ガスには、二酸化炭素のほか、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボンなどがあり、これらの濃度が高くなると気温が上がり、地球温暖化の要因となります。

か行

崖線

多摩川などの河川や海の浸食作用でできた崖地のつらなりです。崖線下は、湧水や動植物の生育・生息の場所となっていることがあります。また、市街地の中で行政の境目を超えて連続して存在する緑を有することもあります。

環境基準

健康保護と生活環境の保全の上で維持されることが望ましい基準として定められたもので、物質の濃度や音の大きさを数値で示すものです。この基準は、公害対策を進めていく上で、行政の目標として定められるものであり、この数値を超えると直ちに被害が生じるという意味のものではありません。

涵養

雨や川の水などが地下に浸透して帯水層に流れ込む現象を言います。

協働

共通の目的を達成するために、各主体がそれぞれの立場に応じた役割分担のもとで相互に連携・協力を行うことを言います。立川市では、平成 24 年度に改定した「立川市協働推進基本指針」では、協働を「地域や社会の課題解決という共通の目的のもと、行政やNPO等が、それぞれの主体性・自発性を発揮して、お互いの立場や特性を認識・尊重しながら、相乗効果を生むような取り組みをすること」としています。

光化学スモッグ

大気中の窒素酸化物や炭化水素が太陽の紫外線を受けて化学反応を起こして発生する汚染物質（光化学オキシダント）が原因となり、人間の粘膜への刺激、呼吸器への影響を及ぼすほか、農作物などの植物への影響もあると言われています。

さ行

再生可能エネルギー

太陽光や太陽熱、水力、風力、バイオマス、地熱など、一度利用しても比較的短期間に再生が可能であり、資源が枯渇しないエネルギーのことを言います。

四塩化炭素

ドライクリーニングの溶剤、消火器などに広く使われ、フロンガスの原料にもなっていました。強い毒性が判明し用途が限られ、さらにオゾン層破壊物質であることから1996年で生産全廃とされました。現在でも必要不可欠な原料（クロロカーボンの原料、農薬原料、フッ素系ガス原料など）としての供給は続いています。

生物多様性

地球上に多様な生きものが存在している状態のことです。生態系、種間（種）、種内（遺伝子）の3つのレベルで多様性があると言われています。

た行

立川いきものデータベース

多くの方が自然にふれあう機会や生き物に興味・関心をもってもらうためのきっかけ作りとなるように、平成28年度から開始されたウェブ上の立川市内の生きものデータベースです。たくさんの方の写真の投稿により、データベースが充実していきます。平成28年度は昆虫の写真の投稿、平成29年度から野鳥と野草、平成30年度から魚貝類、両生・爬虫類、哺乳類（野生）の投稿ができるようになりました。

地域猫活動

地域に住み着く飼い主のいない猫をその地域に住む人などが、地域の合意の下に、飼い主のいない猫をこれ以上増やさず、今いる猫がその生を全うするまで、地域で適正に管理していく活動を言います。

地球温暖化

多量の石炭や石油などの消費により、二酸化炭素、メタン、亜酸化窒素、フロンなどの温室効果ガス（用語解説参照）の排出量が大量に増加するにしたいがい、地球の平均気温が上昇する現象を言います。

低公害車

排気ガスを出さない、あるいは排気ガスの量が少ない車など公害の少ない自動車のこと。電気自動車、天然ガス自動車、メタノール自動車、燃料電池自動車、ハイブリッド車や低燃費かつ低排出ガス認定車のことを指します。たちかわし環境ブックでは、九都県市あおぞらネットワークの低公害車指定制度を準用し、これに該当するものを低公害車としています。

適正管理化学物質

東京都環境確保条例により、適正に管理することが義務付けられている化学物質のこと。取り扱い事業者は、使用量などの把握及び報告が義務付けられています。

テトラクロロエチレン

パークレンとも呼ばれる有機塩素系溶剤。シミ抜きや電子部品の洗浄、代替フロン合成原料、脱脂洗浄剤、工業用溶剤などに広く使われます。身近なところではドライクリーニングの溶剤として使用されます。

等価騒音レベル

時間とともに変動する騒音（非定常音）について、一定期間の平均的な騒音の程度を表す指標のひとつ。通常、騒音レベルは時間とともに変動するため、その評価には一定の測定時間内でこれに等しい平均 2 乗音圧を与える連続定常音の騒音レベルを使用しています。騒音レベルを表す単位はデシベル（dB）。実測時間を 10 分間とした場合は、 $L_{Aeq}(10min)$ と表示します。

東京都一般環境大気測定局（泉町）

東京都が主に、環境基準の適合状況の把握、大気汚染対策の効果の確認等の地域全体の汚染状況を把握することを目的として設置したものです。設置にあたっては、地域内を代表する測定値が得られるよう、特定の発生源の影響を直接受けにくい場所を選定しなければならないとされています。

トリクロロエタン

塩素原子の配置によって 2 種類ありますが、いずれも金属部品、電気部品などの洗浄用に使用され、地下水汚染の原因物質となっています。また、1,1,1-トリクロロエタンについては、フロンガスと並んでオゾン層破壊物質として規制物質に指定され、1996 年までに全廃されています。

トリクロロエチレン

有機塩素系溶剤。シミ抜きや電子部品の洗浄、代替フロン合成原料、脱脂洗浄剤、工業用溶剤などに使われます。

は行

保護樹林地

その集団に属する樹木が健全で、かつ、その集団の樹容が美観上すぐれていて、当該土地の面積が 300 平方メートル以上ある樹林地が保護指定に該当します。指定の際には、所有者と市の間で樹林地の使用貸借契約を締結し、固定資産税と都市計画税が減免されます。

保存樹木

健全で樹容が美観上すぐれている樹木で、地上 1.5 メートルの高さの幹周りが 1.5 メートル以上、高さが 10 メートル以上の樹木が保護指定に該当します。

や行

要請限度

市長は「市域内における自動車騒音又は道路交通振動が環境省令で定める限度を超えることにより、道路周辺の生活環境が著しく損なわれると認めるときは、東京都公安委員会に対し道路交通法の規定による措置を執ることを要請することができる」などの権限を持っています。要請限度は、その基準として定められているものです。

数字

1,1,1-トリクロロエタン

メチルクロロホルムとも呼ばれる有機塩素系溶剤。シミ抜きや電子部品の洗浄やインクやペンキの溶剤としても使用されました。安定剤として1,4-ジオキサンを2%程度含みます。有機塩素系溶剤の中では毒性は低い方ですが、オゾン層破壊物質として規制物質に指定され、1996年で生産全廃とされました。現在でも必要不可欠な原料としての供給は続いています。

1,4-ジオキサン

エーテルの一種。主に抽出、反応系溶媒として使用されます。有機塩素系溶剤の安定剤などにも使われます。水といかなる比率でも混合し、分離は困難とされています。環境での分解性が低く、毒性があります。

A～Z

BOD（生物化学的酸素要求量）

水中の有機物（家庭や事業所からの排水など）が微生物の働きによって分解されるときに消費される酸素量のことです。河川における有機物による汚染の程度を示す代表的な指標です。数値が大きいほど汚濁が進んでいることを示します。

DO（溶存酸素量）

水中に溶けている酸素量のことです。水質汚濁状況を測る代表的な指標のひとつです。一般に清浄な河川では、ほぼ飽和値（8～9mg/L）に達していますが、水質汚濁が進んで水中の有機物が増えると、微生物による有機物の分解に伴って多量の酸素が消費されるため、水中の溶存酸素濃度が低下します。溶存酸素の低下は、微生物の活動を抑制して水の浄化作用を低下させるため、水生生物の窒息死などを招き、水質が汚濁状況にあることを示します。

Lden（時間帯補正等価騒音レベル）

個々の航空機騒音の単発騒音曝露レベルに昼・夕・夜の時間帯補正を加えてエネルギー加算し、1日の時間平均を取ってレベル表現したものです。日本の航空機騒音に係る環境基準の評価指標はWECPNLを採用してきましたが、近年の騒音測定機器の技術的進歩及び国際的動向に即して、平成25年4月より新たな評価指標としてLdenを採用することになりました。

PCB（ポリ塩化ビフェニル）

PCBは熱安定性、電気絶縁性に優れた物質で、かつてはトランス、コンデンサー、蛍光灯の安定器などに使用されてきましたが、その毒性が社会問題化し、現在は製造・輸入・使用が原則的に禁止されているほか、廃棄にあたっては適正な処理が義務づけられています。

pg-TEQ

ダイオキシン類の毒性を示す際に使われる特殊な単位で、pg(ピコグラム)は一兆分の1グラムを示します。TEQは「毒性等量」と言われるもので、29種類あるダイオキシン類の中で最も毒性の強いものに基準を合わせて影響評価等をわかりやすくするために使われるものです。一般的にダイオキシン類の濃度を表すときは、このTEQに換算した数値が使われ、水質であれば1pg-TEQ/L、大気であれば1pg-TEQ/m³、土壌であれば1pg-TEQ/gというように表します。

pH（水素イオン濃度）

水の酸性、アルカリ性を示す指数で、0から14までの間の数値で示され、pH7が中性、7未満が酸性、7を超えるものがアルカリ性となります。

ppm

Parts per million の略で 100 万分の 1 を表します。容量比や重量比を表す単位として濃度や含有率を示すときに用いられます。1ppm とは、大気汚染物質の濃度表示では大気 1m³ (立方メートル) の中にその物質が 1cm³ (立方センチメートル) 含まれていること、また、水質汚濁物質の濃度表示では水 1kg の中にその物質が 1mg 含まれていることを示します。

SS (浮遊物質)

水中に浮遊している直径 2mm 未満の水に溶けない物質のことで、河川水に SS が多くなると、光の透過を妨げ、光合成による自浄作用が阻害されることなどから、魚などの水中生物に悪影響を及ぼします。

t-CO₂eq

t : トン (質量の単位)、CO₂eq : 二酸化炭素換算 eq は英語 equivalent (等量) の頭文字。温室効果ガスには、二酸化炭素と、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン類、パーフルオロカーボン類、六ふっ化硫黄、三ふっ化窒素の 7 種類があります。7 種類のガスは同じ質量では温室効果が異なりますので、二酸化炭素であればどれくらいの質量に相当するかを換算し、排出量が比較できるようにしています。

TJ

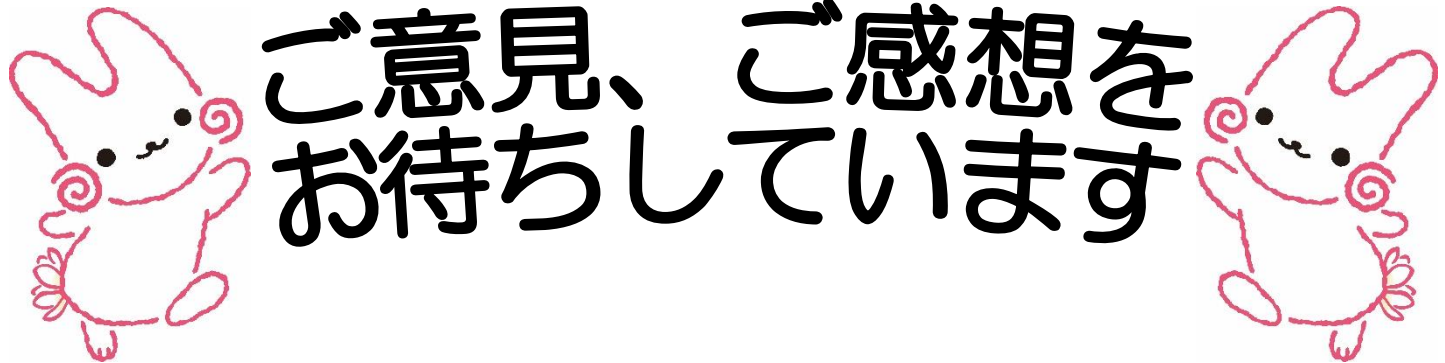
テラジュールは、10 の 12 乗 (1 兆) ジュール。エネルギー、仕事熱量、電力量の単位。1 ジュールは、地球上でおよそ 102 g の物体を 1 m 持ち上げる時の仕事量に相当します。

μm (マイクロメートル)

マイクロは 100 万分の 1 を表す単位で、ミリの 1,000 分の 1 に当たります。浮遊粒子状物質の基準となる 10 μm は、0.01mm と同じです。

WECPNL

Weighted Equivalent Continuous Perceived Noise Level の頭文字で、直訳すると「加重等価平均感覚騒音レベル」となります。航空機の離着陸ごとの騒音レベルに加え、機数や発生時間帯などを加味した航空機騒音に係る単位で、航空機騒音の評価に採用されていました。



みなさまの ご意見、ご感想を お待ちしております

「たちかわし環境ブック 2023」をお読みいただき、ありがとうございました。

「たちかわし環境ブック」では、立川市の環境の現状をお伝えする報告書としての役割と皆様の環境にやさしい行動を促すメッセージを伝えるという役割を中心に、よりわかりやすい誌面づくりに努めていきたいと考えております。

より一層の誌面充実に向けて、皆様のご意見・ご感想、こんなことも載せて欲しいといった要望やアイデアなど、皆様の声をお聞かせください。

ご意見・ご感想などはこちらへお願いします

立川市環境下水道部環境対策課

直接お越しいただく場合は・・・東京都立川市泉町 1156-9 本庁舎 2 階

お電話の場合は・・・042 - 523 - 2111 内線 2243・2244

FAXの場合は・・・042 - 524 - 2603

Eメールの場合は・・・kankyoutaisaku@city.tachikawa.lg.jp